

(様式第10)

信大病総第0205号

令和4年10月5日

厚生労働大臣 殿

開設者名 国立大学法人信州大学長 中村 宗一郎

信州大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和3年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号
氏名	国立大学法人 信州大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

信州大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号
電話 (0263) 35-4600

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input type="radio"/>	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="radio"/>	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科				有			
内科と組み合わせた診療科名等							
<input type="radio"/>	1呼吸器内科	<input type="radio"/>	2消化器内科	<input type="radio"/>	3循環器内科	<input type="radio"/>	4腎臓内科
	5神経内科	<input type="radio"/>	6血液内科		7内分泌内科		8代謝内科
<input type="radio"/>	9感染症内科	<input type="radio"/>	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科			<input type="radio"/>	11リウマチ科
診療実績							
脳神経内科, 糖尿病・内分泌内科, 腫瘍内科, 緩和ケア内科							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科						有	
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科	○	3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科	○	7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科	○	7産婦人科		8産科
	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

(注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科						有	
歯科と組み合わせた診療科名							
	1小児歯科		2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	移植外科	2	形成外科	3	リハビリテーション科	4	病理診断科	5	児童精神科
6		7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
40				677	717

(単位: 床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	255	343	482.1
歯科医師	5	27	19.81
薬剤師	33	15	48
保健師	0	0	0
助産師	65	3	66.86
看護師	704	10	710.71
准看護師	1	0	1
歯科衛生士	3	4	7
管理栄養士	5	6	10.65

職種	員数
看護補助者	38
理学療法士	17
作業療法士	12
視能訓練士	8
義肢装具士	0
臨床工学士	22
栄養士	0
歯科技工士	3
診療放射線技師	41

職種	員数	
診療エックス線技師	0	
臨床検査	臨床検査技師	68
	衛生検査技師	0
	その他	0
あん摩マッサージ指圧師	0	
医療社会事業従事者	7	
その他の技術員	31	
事務職員	170	
その他の職員	33	

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	67	眼科専門医	13
外科専門医	32	耳鼻咽喉科専門医	13
精神科専門医	13	放射線科専門医	22
小児科専門医	23	脳神経外科専門医	9
皮膚科専門医	9	整形外科専門医	31
泌尿器科専門医	11	麻酔科専門医	22
産婦人科専門医	13	救急科専門医	8
		合計	286

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (川真田 樹人) 任命年月日 令和 2 年 4 月 1 日

平成26年4月1日～平成28年3月31日:医療安全管理室長

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	508 人	13.9 人	521.9 人
1日当たり平均外来患者数	1350.6 人	74.6 人	1425.2 人
1日当たり平均調剤数		916.7	剤
必要医師数		132	人

必要歯科医師数	2	人
必要薬剤師数	18	人
必要(准)看護師数	309	人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二条

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数		心電計	
集中治療室	645 ㎡	鉄筋コンクリート	14 床	有	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	343	㎡	病床数	22 床
	[移動式の場合]	台数	6	台		
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床面積	116			㎡
	[共用室の場合]	共用する室名	服薬指導室			
化学検査室	508 ㎡	鉄筋コンクリート	(主な設備)	全自動マイクロプレートEIA分析装置		
細菌検査室	128 ㎡	〃	(主な設備)	Anoxomat Mark II (細菌診断装置)		
病理検査室	232 ㎡	〃	(主な設備)	凍結組織切片作製装置		
病理解剖室	145 ㎡	〃	(主な設備)	写真撮影器具		
研究室	241 ㎡	〃	(主な設備)	なし		
講義室	949 ㎡	〃	室数	10 室	收容定員	404 人
図書室	88 ㎡	〃	室数	1 室	蔵書数	9500 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	89 . 0	%	逆紹介率	71 . 0	%
算出根拠	A: 紹介患者の数		13281		人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		11684		人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1364		人
	D: 初診の患者の数		16456		人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況

田内 克典	社会医療法人財団慈泉 会相澤病院 病院長	○	医療に係る安全管理に 関する識見を有する者	無	1
高木 洋行	松本市立病院 名誉院 長		医療に係る安全管理に 関する識見を有する者	無	1
宗村 和広	信州大学 経法学部 教授		法律に関する 識見を有する者	無	1
土屋 恭子			医療を受ける者	無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
信州大学医学部附属病院のウェブページ上で公開している。	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数 (人)
ペメトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法 肺がん(扁平上皮肺がん及び小細胞肺がんを除き、病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)	0
S-1内服投与並びにパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の併用療法 膵臓がん(遠隔転移しておらず、かつ、腹膜転移を伴うものに限る。)	0
マルチプレックス遺伝子パネル検査 進行再発固形がん(治療法が存在しないもの又は従来の治療法が終了しているもの若しくは従来の治療法が終了予定のものに限る。)	2
先進医療の種類の合計数	
扱い患者数の合計(人)	2

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	膵石に対する体外衝撃波結石破碎術(ESWL)	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 慢性膵炎で発症することの多い膵石に対する体外衝撃波を用いて結石を破碎する治療。県内では信州大学医学部附属病院でのみ可能な治療法。			
医療技術名	腎移植(生体および献腎)	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 慢性腎不全患者に対する生体および献腎移植の実施。			
医療技術名	遺伝子改変T細胞療法	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 難治性血液腫瘍に対する免疫細胞治療			
医療技術名	キムリア療法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 難治性白血病に対するCAR-T細胞製剤による治療。子屋内20程度の認定施設でしか実施できない。			
医療技術名	GMR CAR-T療法	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 CD116陽性骨髄系腫瘍に対する非ウイルス遺伝子改変キメラ抗原受容体T細胞療法の医師主導治験			
医療技術名	血管奇形に対する画像誘導下経皮的硬化療法	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要 皮膚や筋肉、軟部組織における血管奇形に対して、CT等下に病変を穿刺。硬化剤として無水エタノールなどを注入する治療である。			
医療技術名	Associated liver partition and portal vein ligation for staged hepatectomy(ALPPS)	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 根治的肝切除に先行して門脈結紮と肝離断を行い、予定残肝容積の増加を確認した後に根治的な肝切除(ALPPS 2nd)を行う。			
医療技術名	胸腔鏡下食道癌手術	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 胸腔鏡下にて食道癌手術を行う。			
医療技術名	ロボット支援下直腸癌手術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 ロボット支援下に直腸癌手術を行う。			
医療技術名	生体肝移植術	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要 末期肝不全患者に対する臓器移植術。			
医療技術名	脳死肝移植術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 末期肝不全患者に対する臓器移植術。			

医療技術名	血液型不適合生体肝移植術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 生体肝移植術のうち、血液型が不一致不適合の生体ドナーから提供された肝臓を移植する技術で、免疫抑制剤にリツキシマブを追加し、脾摘を加える。			
医療技術名	心筋症に対する補助人工心臓	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 心筋症における末期心不全において補助人工心臓を用いて補助を行う。			
医療技術名	肺癌におけるサルベージ手術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 進行肺癌に対する初回治療で、手術適応無しと判断され薬物療法や放射線化学療法が行われた後の経過において、局所再発等に対し外科的切除の適応と判断した症例に対する根治的治療(サルベージ手術)を行った。薬物療法などの進歩に伴い、近年その有用性が報告され始めた手術であるが、初回治療の影響により、局所の癒着や硬化が強くなり、高難度な手術である。			
医療技術名	ロボット支援鏡視下肺葉切除	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 Intuitive社のda Vinciを用いたロボット支援下の肺癌に対する肺葉切除術。現在保険適用とはなっているが、術者・助手ともにIntuitive社のCertificateが必要であり、高度な手術である。			
医療技術名	ロボット支援鏡視下縦隔腫瘍手術	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要 Intuitive社のda Vinciを用いたロボット支援下の縦隔腫瘍(胸腺上皮性腫瘍や縦隔神経原性腫瘍など)に対する切除術。現在保険適用とはなっているが、術者・助手ともにIntuitive社のCertificateが必要であり、高度な手術である。			
医療技術名	小型肺癌に対するRFID技術を用いた術前マーキング法	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 術中に触知不可能な小型肺病変に対し、現在CTガイド下のフックワイヤーを用いたVATSマーカー留置を施行しているが、空気塞栓による脳梗塞のリスクなどがあるとされる。今回、気管支鏡化にICチップを数カ所留置し、術中にプローブを用いてチップの位置を同定しながら手術を行うRFID(Radiofrequency identification)技術を用いて小型肺癌や転移性肺腫瘍に対して切除を施行した。本技術はこれまで数施設のみ、世界でも(当科で1例目実施時)15例程度のみに行われていない技術である。			
医療技術名	ロボット支援鏡視下肺区域切除	取扱患者数	78人
当該医療技術の概要 Intuitive社のda Vinciを用いたロボット支援下の肺癌に対する肺区域切除術。現在保険適用とはなっているが、術者・助手ともにIntuitive社のCertificateが必要であり、ロボット支援鏡視下肺葉切除と同等、もしくはそれ以上に高度な手術である。			
医療技術名	がん遺伝子パネル検査に基づくプレジジョンメディシン	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 甲状腺癌において、がん遺伝子パネル検査に組織の一部を提出し、遺伝子の変異を確認して適切な治療を選択する。			
医療技術名	ハイブリッド手術室での脊柱側弯症手術	取扱患者数	45人
当該医療技術の概要 ハイブリッド手術室でロボテックC-armにより撮影されたCone beam CT画像で仮想現実を作り出し、術中CTナビゲーションによる側弯症手術を行う。コンピュータナビゲーションシステムを利用して椎弓根スクリューを挿入し安全に側弯症手術を行う。			
医療技術名	スマート治療室における脳腫瘍手術	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 術中MRIおよび情報統合ミドルウェアを用いた脳腫瘍手術。			
医療技術名	てんかん外科手術	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要 難治性てんかんに対する外科手術。			
医療技術名	CAD/CAM冠への置換	取扱患者数	7
当該医療技術の概要 放射線治療(口腔を含む)を受ける患者の金属補綴物をCAD/CAM冠への置換へ置換することにより、放射線粘膜炎が軽減できる			

医療技術名	口蓋補助床	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 口蓋補助床(PLP、PAP)を用いることにより、嚥下、発音機能を改善する。			
医療技術名	腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 従来は開腹で行っていた悪性度の高い組織型の子宮体癌IA期に対する根治術(傍大動脈リンパ節郭清術を含む)を、低侵襲な腹腔鏡下手により施行する。腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術は技術難易度E(特殊技術を有する専門医が行うもの)の高難度新規医療技術に指定されている。			
医療技術名	ロボット補助下子宮体癌手術	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要 開腹手術や腹腔鏡下手術で行っていた子宮体癌IA期に対する手術をロボット(ダ・ヴィンチ手術システム)支援下に行う。執刀はダ・ヴィンチ手術システムの使用のためにIntuitive Surgical社による認定ライセンスを受けた医師が行う。			
医療技術名	腹腔鏡下広汎(準広汎ふくむ)子宮全摘術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る)の登録施設において、子宮頸癌のIA2期、I B1期、II A1期に適用される技術であり、腹腔鏡で行うことで開腹手術と比較して低侵襲で施行できる。			
医療技術名	運動誘発電位測定	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 胸腹部大動脈瘤手術、脊髄・脊椎手術では、術中・術後に脊髄梗塞が生じ、下肢麻痺になることがある。術後の下肢麻痺を防止するために、術中に運動誘発電位を測定し、脊髄運動路の機能を持続的に評価する。			
医療技術名	血管奇形に対する硬化療法	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要 リンパ管奇形のみならず、動静脈奇形、静脈奇形にも放射線科と連携して硬化療法を施行している。			
医療技術名	顔面骨骨切り術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 複雑な先天異常の顔面骨異常に対し、術前3D骨模型を用いた計画のもと、骨切り術を施行している。			
医療技術名	リンパ管静脈吻合術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 リンパ浮腫に対するリンパ管静脈吻合術を保存的療法に加えて施行している。			
医療技術名	自家培養表皮による皮膚移植術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 広範囲熱傷および先天性巨大色素性母斑に対して 自家培養表皮による皮膚移植を行う。			
医療技術名	マイクロサージャリーによるがん切除後の再建手術	取扱患者数	48人
当該医療技術の概要 悪性腫瘍手術により広範囲に切除された組織を再建するためにマイクロサージャリーを行う。			
医療技術名	持続血液浄化療法	取扱患者数	90人
当該医療技術の概要 腎不全を伴う重症患者に対し、丸1日かけて透析療法を行う。			
医療技術名	体外補助循環①	取扱患者数	31人
当該医療技術の概要 心不全を伴う重症患者に対するサポート治療。大動脈バルーンポンピングを用いた治療。			

医療技術名	体外補助循環②	取扱患者数	15
当該医療技術の概要 心不全, 呼吸不全を伴う重症患者に対するサポート治療。PCPS, ECMOを用いた治療。			
医療技術名	一酸化窒素療法	取扱患者数	14人
当該医療技術の概要 肺高血圧を伴う心臓手術後患者に対する治療。			
医療技術名	体外補助循環	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 心不全, 呼吸不全を伴う重症患者に対するサポート治療。インペラを用いた治療。			
医療技術名	気管支鏡インターベンション	取扱患者数	6
当該医療技術の概要 気道狭窄や気道出血などに対して、気管支鏡的に、バルーンや高周波治療(アルゴンプラズマ凝固法(APC)含む)を用いた気道の拡張や、腫瘍切除を行う。また気道ステント留置も行っている。			
医療技術名	超音波気管支鏡下針生検(EBUS-TBNA)	取扱患者数	42人
当該医療技術の概要 気管・気管支周囲リンパ節などの病変に対して、超音波を用いてリアルタイムに、安全で確実な針生検を行うことができる。			
医療技術名	CTガイド下気管支鏡検査	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 CTにて病変、気管支鏡の位置を確認しつつ検査を行うことで、CTで指摘された病変から確実に組織検査を行うことができる。			
医療技術名	超音波内視鏡下膵嚢胞ドレナージ術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 超音波内視鏡下に経胃的に膵嚢胞を穿刺、ドレナージチューブやステントを留置する。			
医療技術名	経口内視鏡的筋層切開術(POEM)	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 食道アカラシアに対する内視鏡を用いて筋層切開を行う新しい治療法。			
医療技術名	消化管腫瘍に対する腹腔鏡内視鏡合同切除(LECS)	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 内視鏡のみで切除困難な消化管発生の粘膜下腫瘍や十二指腸腫瘍などに対して腹腔鏡と内視鏡両方を用いて安全に腫瘍を切除できる治療法。			
医療技術名	内視鏡下咽喉頭手術(ELPS)	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要 早期の咽頭・喉頭腫瘍に対して、耳鼻科医による喉頭展開下に行う内視鏡的な腫瘍切除術。通常の手術と比較して低侵襲な治療法。			
医療技術名	十二指腸腫瘍に対する浸水下内視鏡的切除(Underwater EMR)	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 早期の十二指腸腫瘍に対して、腸管内浸水状況下に内視鏡的に粘膜切除を行う方法。従来の内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)と比較して安全性が非常に高く腫瘍の切除が可能である。			
医療技術名	体外式衝撃波結石破砕術(ESWL)	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要 衝撃波を発生させる装置を用いて衝撃波エネルギーを体内の結石に照射し、細かく砕く治療。内視鏡での除去困難な膀胱結石に対して行う。			
医療技術名	内視鏡的胆道鏡下結石破砕術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 経口胆道鏡下に電気水圧衝撃波を用いて、従来の方法で除去困難な胆管結石を除去する治療。			

医療技術名	バルーン内視鏡を用いてERCP(内視鏡的逆行性膵胆管造影検査)	取扱患者数	34人
当該医療技術の概要 胃・胆道・膵術後症例における膵胆管疾患に対して、通常の内視鏡で膵胆管の造影検査が困難な場合にバルーン内視鏡を用いることで検査が可能。			
医療技術名	マイクロアレイ染色体検査	取扱患者数	21人
当該医療技術の概要 マイクロアレイを用いて染色体微細構造の変化を解析し、患者DNAにおけるコピー数の変化を解析する			
医療技術名	結合織疾患の次世代シーケンス解析	取扱患者数	57人
当該医療技術の概要 次世代シーケンサーを用い、結合織疾患(マルファン症候群、エーラーズ・ダンロス症候群等)患者を対象に、54種の遺伝子を解析している。			
医療技術名	知的障害の次世代シーケンス解析	取扱患者数	21人
当該医療技術の概要 知的障害患者を対象に、次世代シーケンサーを用いて、知的障害関連の80種の遺伝子解析を行っている。			
医療技術名	デスマプレッシン点鼻療法	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 D4ST欠損を伴うエーラーズダンロス症候群患者の巨大皮下血腫に対して、デスマプレッシン点鼻療法を行い、良好な経過を導き出している。			
医療技術名	てんかんの次世代シーケンス解析	取扱患者数	14人
当該医療技術の概要 てんかんの遺伝子解析を行っている			
医療技術名	TSO500がんパネルを用いた遺伝検査システム。	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 岡山大学との共同研究。			
医療技術名	フローダイバーター(パイプライン、フレッド)留置術	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 大型かつ広頸の脳動脈瘤に対して行う治療法である。コイルを用いないので、動脈瘤の縮小が期待できる。			
医療技術名	ロボット支援腹腔鏡下前立腺摘除術	取扱患者数	83人
当該医療技術の概要 daVinciシステムを使用した手術			
医療技術名	人工尿道括約筋埋込術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 前立腺癌術後の尿失禁に対する新しいdeviceを使用した手術			
医療技術名	ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術	取扱患者数	44人
当該医療技術の概要 daVinciシステムを使用した手術			
医療技術名	生体腎移植術	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要			
医療技術名	CTガイド下気管支鏡検査	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 CTの普及により、胸部X線では発見不可能な淡くて小型の肺病変が増えてきている。X線透視下による気管支鏡検査は困難であり、CT撮影下に気管支鏡生検を行う検査である。			

医療技術名	超音波気管支鏡ガイド下針生検	取扱患者数	42人
当該医療技術の概要 気管支鏡と超音波が一体となった内視鏡で気管・気管支周辺の病変に対してリアルタイムに針生検を可能とした手技。			
医療技術名	エキシマレーザーを用いた下腿動脈形成術	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 エキシマレーザーはキセノンを媒質として発生するレーザー光で、カテーテル先端からエキシマレーザーを照射することにより、生体組織に熱損傷をきたすことなくプラーク病変を蒸散させ、閉塞した血管を開通することができる。下肢動脈の高度狭窄病変に対してエキシマレーザーを用いた血管形成術を実施している。			
医療技術名	エキシマレーザーを用いた心内リード抜去術	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 ペースメーカーやICDを植え込んだ後、感染症の合併により植え込んだリードを抜去する必要がある場合がある。これまではリードの抜去に開心術が必要で患者の負担が大であったが、エキシマレーザーを用いることにより開心術を行うことなくリード抜去を実施している。			
医療技術名	コレステロール塞栓症に対するLDL吸着療法	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 コレステロール塞栓症による末梢循環障害の改善を目的とした血液浄化療法である。本院では当該治療について先進医療の承認を受けている。			
医療技術名	難治性腹水症に対する腹水濾過濃縮再静注法	取扱患者数	25人
当該医療技術の概要 癌腹膜播種や肝硬変などに伴う難治性腹水症に対し、当院では独自の手法による腹水濾過濃縮再静注法(DC-CART)を行っている。この方法により腹水の全量排液、効率の良い蛋白回収率、低い合併症を実現している。			
医療技術名	難治性自己免疫疾患に対する血漿交換療法	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 難治性自己免疫疾患に対し、疾患特性や患者の全身状態を考慮し様々な種類の血漿交換(単純血漿交換、二重膜濾過血漿交換、血漿吸着療法)を選択し行っている。			
医療技術名	重症肝不全に対する大量置換血液ろ過透析療法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 重症肝不全に対する体液異常の是正を目的とした大量置換血液ろ過透析療法を行っている。			
医療技術名	炎症性腸疾患に対する顆粒球吸着療法	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 炎症性腸疾患に対して活性化白血球を除去する顆粒球吸着療法を行っている。			
医療技術名	集中治療における持続血液濾過透析とエンドトキシン吸着療法	取扱患者数	56人
当該医療技術の概要 集中治療室における循環動態の不安定な患者に対して持続血液濾過透析やエンドトキシン吸着療法を行っている。			
医療技術名	腎移植	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 末期腎不全患者に対し、生体および献腎移植を行っている			

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	5	72	下垂体性ADH分泌異常症	10
2	筋萎縮性側索硬化症	17	73	下垂体性TSH分泌亢進症	1
3	脊髄性筋萎縮症	7	74	下垂体性PRL分泌亢進症	4
5	進行性核上性麻痺	7	75	クッシング病	6
6	パーキンソン病	112	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	34
7	大脳皮質基底核変性症	2	78	下垂体前葉機能低下症	68
10	シャルコー・マリー・トウース病	5	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	4
11	重症筋無力症	80	84	サルコイドーシス	60
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	67	85	特発性間質性肺炎	74
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	26	86	肺動脈性肺高血圧症	29
15	封入体筋炎	1	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	1
16	クロー・深瀬症候群	3	88	慢性血栓性肺高血圧症	25
17	多系統萎縮症	7	89	リンパ管筋腫症	5
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	66	90	網膜色素変性症	18
19	ライソゾーム病	11	91	バッド・キアリ症候群	2
21	ミトコンドリア病	8	92	特発性門脈圧亢進症	2
22	もやもや病	15	93	原発性胆汁性胆管炎	51
25	進行性多巣性白質脳症	2	94	原発性硬化性胆管炎	7
28	全身性アミロイドーシス	193	95	自己免疫性肝炎	11
30	遠位型ミオパチー	1	96	クローン病	98
34	神経線維腫症	29	97	潰瘍性大腸炎	123
35	天疱瘡	11	98	好酸球性消化管疾患	5
36	表皮水疱症	2	104	コステロ症候群	1
37	膿疱性乾癬(汎発型)	10	105	チャージ症候群	1
39	中毒性表皮壊死症	1	106	クリオピリン関連周期熱症候群	1
40	高安動脈炎	14	107	全身型若年性特発性関節炎	5
41	巨細胞性動脈炎	3	109	非典型型溶血性尿毒症症候群	1
42	結節性多発動脈炎	10	111	先天性ミオパチー	1
43	顕微鏡的多発血管炎	20	113	筋ジストロフィー	9
44	多発血管炎性肉芽腫症	16	115	遺伝性周期性四肢麻痺	1
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	14	117	脊髄空洞症	3
46	悪性関節リウマチ	4	118	脊髄髄膜瘤	3
47	バーシャー病	3	129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	1
49	全身性エリテマトーデス	246	130	先天性無痛無汗症	1
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	103	131	アレキサンダー病	1
51	全身性強皮症	76	143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	1
52	混合性結合組織病	47	145	ウエスト症候群	1
53	シェーグレン症候群	26	151	ラスムッセン脳炎	1
54	成人スチル病	18	154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	2
55	再発性多発軟骨炎	1	158	結節性硬化症	8
56	ベーチェット病	73	160	先天性魚鱗癬	1
57	特発性拡張型心筋症	71	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	6
58	肥大型心筋症	26	163	特発性後天性全身性無汗症	2
60	再生不良性貧血	23	166	弾性線維性仮性黄色腫	1
61	自己免疫性溶血性貧血	5	167	マルファン症候群	39
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	2	168	エーラス・ダンロス症候群	26
63	特発性血小板減少性紫斑病	19	171	ウィルソン病	1
64	血栓性血小板減少性紫斑病	1	172	低ホスファターゼ症	1
65	原発性免疫不全症候群	14	179	ウィリアムズ症候群	2
66	IgA腎症	25	181	クルーソン症候群	1
67	多発性嚢胞腎	32	188	多脾症候群	1
68	黄色靱帯骨化症	9	189	無脾症候群	2
69	後縦靱帯骨化症	57	191	ウェルナー症候群	1
70	広範脊柱管狭窄症	11	203	22q11.2欠失症候群	2
71	特発性大腿骨頭壊死症	48	207	総動脈幹遺残症	2

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
208	修正大血管転位症	3			
209	完全大血管転位症	2			
210	単心室症	3			
211	左心低形成症候群	1			
212	三尖弁閉鎖症	5			
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	3			
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	3			
215	ファロー四徴症	12			
216	両大血管右室起始症	10			
217	エプスタイン病	3			
218	アルポート症候群	3			
220	急速進行性糸球体腎炎	4			
221	抗糸球体基底膜腎炎	2			
222	一次性ネフローゼ症候群	18			
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	2			
224	紫斑病性腎炎	4			
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	1			
227	オスラー病	8			
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	1			
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	6			
254	ポルフィリン症	1			
263	脳髄黄色腫症	3			
266	家族性地中海熱	10			
271	強直性脊椎炎	17			
274	骨形成不全症	2			
279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病)	1			
280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	1			
281	クリツベル・トレノナー・ウェーバー症候群	1			
283	後天性赤芽球癆	1			
284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	1			
286	遺伝性鉄芽球性貧血	1			
288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	7			
290	非特異性多発性小腸潰瘍症	1			
296	胆道閉鎖症	7			
297	アラジール症候群	1			
300	IgG4関連疾患	15			
304	若年発症型両側性感音難聴	1			
306	好酸球性副鼻腔炎	39			
318	シトリン欠損症	7			
319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	1			
327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	1			
331	特発性多中心性キャスルマン病	9			

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	152
合計患者数(人)	2695

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・オンライン診療料	・ハイリスク分娩管理加算
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・呼吸ケアチーム加算
・歯科外来診療環境体制加算2	・後発医薬品使用体制加算1
・歯科診療特別対応連携加算	・病棟薬剤業務実施加算1、2
・特定機能病院入院基本料(一般病棟7対1、精神病棟10対1)	・データ提出加算2(200床以上)
・超急性期脳卒中加算	・入退院支援加算1(入院時支援加算含む)
・診療録管理体制加算2	・精神疾患診療体制加算
・医師事務作業補助体制加算1(30対1)	・精神科急性期医師配置加算
・急性期看護補助体制加算(25対1・看護補助者5割未満)	・排尿自立支援加算
・夜間100対1急性期看護補助体制加算	・地域医療体制確保加算
・夜間看護体制加算	・地域歯科診療支援病院入院加算
・看護職員夜間配置加算(12対1配置加算1)	・救命救急入院料2、3
・療養環境加算	・特定集中治療室管理料1
・重症者等療養環境特別加算	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・無菌治療室管理加算1・2	・新生児特定集中治療室管理料1
・緩和ケア診療加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・精神科身体合併症管理加算	・小児入院医療管理料2
・精神科リエゾンチーム加算	
・摂食障害入院医療管理加算	
・栄養サポートチーム加算	
・医療安全対策加算1	
・感染防止対策加算1(感染防止対策地域連携加算含む)	
・抗菌薬適正使用支援加算	
・患者サポート体制充実加算	
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	
・ハイリスク妊娠管理加算	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)
・外来栄養食事指導料(注2)	・皮膚移植術(死体)
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算	・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)
・糖尿病合併症管理料	・処理骨再建加算
・がん性疼痛緩和指導管理料	・骨移植術(軟膏移植術を含む。)(同種骨移植(非生体))(同種骨移植(特殊なものに限る。))
・がん患者指導管理料イ、ロ、ハ、ニ	・骨移植術(軟膏移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
・外来緩和ケア管理料	・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)
・移植後患者指導管理料(臓器移植後、造血幹細胞移植後)	・椎間板内酵素注入療法
・糖尿病透析予防指導管理料	・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)
・小児運動器疾患指導管理料	・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)、及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術
・婦人科特定疾患治療管理料	・治療的角膜切除術(エキシマレーザーによるもの(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。))
・腎代替療法指導管理料	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・院内トリアージ実施料	・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
・外来放射線照射診療料	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・ニコチン依存症管理料	・網膜再建術
・療養・就労両立支援指導料(相談支援加算を含む)	・人工中耳植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅰ)	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・がん治療連携計画策定料	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
・外来排尿自立指導料	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・肝炎インターフェロン治療計画料	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)
・薬剤管理指導料	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)
・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	・乳腺悪性腫瘍手術(乳がんセンチネルリンパ節加算1又は乳がんセンチネルリンパ節加算2を算定する場合に限る。)
・医療機器安全管理料1	・乳腺悪性腫瘍手術(乳がんセンチネルリンパ節切除術(腋窩郭清を伴うもの))及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの)
・医療機器安全管理料2	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・医療機器安全管理料(歯科)	・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

・精神科退院時共同指導料1	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術及び胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・精神科退院時共同指導料2	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除及び肺葉切除又は1肺葉を超えるもので、内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・総合医療管理加算(歯科疾患管理料)	・内視鏡下筋層切開術
・歯科治療時医療管理料	・長直縫合(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃・十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・遠隔モニタリング加算(在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料)	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	・胸腔鏡下弁形成術及び胸腔鏡下弁置換術
・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・経カテーテル大動脈弁置換術
・持続血糖測定器加算(間歇注入ポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定	・経皮的僧帽弁クリップ術
・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)	・不整脈手術(左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)に限る。)
・遺伝学的検査	・磁気ナビゲーション加算
・骨髄微小残存病変変量測定	・経皮的中隔心筋焼灼術
・BRCA1/2遺伝子検査	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・がんゲノムプロファイリング検査	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・先天性代謝異常症検査	・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術
・抗HLA抗体検査(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)
・検体検査管理加算(I)	・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
・検体検査管理加算(IV)	・補助人工心臓
・国際標準検査管理加算	・植込型補助人工心臓(非拍動流型)
・遺伝カウンセリング加算	・経皮的下肢動脈形成術
・遺伝腫瘍カウンセリング加算	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
・胎児心エコー法	・胆管悪性腫瘍手術(臍頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・ヘッドアップティルト試験	・体外衝撃波胆石破碎術
・人工膵臓検査	・腹腔鏡下肝切除術
・皮下連続式グルコース測定	・生体部分肝移植術
・神経学的検査	・同種死体肝移植術
・補聴器適合検査	・体外衝撃波膵石破碎術
・全視野精密網膜電図	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術、腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・ロービジョン検査判断料	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術

・コンタクトレンズ検査料1	・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
・小児食物アレルギー負荷検査	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・内服・点滴誘発試験	・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・センチネルリンパ節生検(片側)	・同種死体腎移植術
・CT透視下気管支鏡検査加算	・生体腎移植術
・精密触覚機能検査	・膀胱水圧拡張術
・画像診断管理加算1	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・画像診断管理加算2	・腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
・画像診断管理加算3	・人工尿道括約筋植込・置換術
・ポジトロン断層撮影、ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・CT撮影及びMRI撮影	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・冠動脈CT撮影加算	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
・外傷全身CT加算	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・心臓MRI撮影加算	・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
・乳房MRI撮影加算	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術
・小児鎮静下MRI撮影加算	・輸血管管理料Ⅰ
・頭部MRI撮影加算	・貯血式自己血輸血管管理体制加算
・全身MRI撮影加算	・コーディネート体制充実加算
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・自己生体組織接着剤作成術
・外来化学療法加算1	・自己クリオプレシビテート作製術(用手法)及び同種クリオプレシビテート作製術
・無菌製剤処理料	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・歯周組織再生誘導手術
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・麻酔管理料(Ⅰ)
・がん患者リハビリテーション料	・麻酔管理料(Ⅱ)
・歯科口腔リハビリテーション料2	・放射線治療専任加算
・リンパ浮腫複合的治療料	・外来放射線治療加算
・通院・在宅精神療法(児童思春期精神科専門管理加算)	・高エネルギー放射線治療
・通院・在宅精神療法(療養生活環境整備指導加算)	・1回線量増加加算
・精神科作業療法	・強度変調放射線治療(IMRT)

・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・画像誘導放射線治療加算
・医療保護入院等診療料	・体外照射呼吸性移動対策加算
・静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)	・定位放射線治療
・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・エタノールの局所注入(副甲状腺に対するもの)	・保険医療機関間の連携による病理診断
・人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
・導入期加算2及び腎代替療法実績加算	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速細胞診
・透析液水質確保加算	・デジタル病理画像による病理診断
・慢性維持透析濾過加算	・病理診断管理加算2
・人工膵臓療法	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・CAD/CAM冠	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。))の手術前後における歯科矯正に係るもの)
・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)	
・皮膚移植術(死体)	
・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)	
・処理骨再建加算	
・骨移植術(軟膏移植術を含む。)(同種骨移植(非生体))(同種骨移植(特殊なものに限る。))	
・骨移植術(軟膏移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	
・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・ マルチプレックス遺伝子パネル検査 進行再発固形がん(切除が困難で進行性のもの又は治療後に再発したものであって、原発部位が不明なもの又は治療法が存在しないもの、従来の治療法が終了しているもの若しくは従来の治療法が終了予定のものに限る。)	

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	週1回の検討会…6件 1ヶ月に1回の検討会…2件
剖 検 の 状 況	剖検症例数(例) 17

ロ 検 査 率

剖検率(%)

6.159

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ALアミロイドーシスにおけるプロテアソーム阻害剤感受性決定機構の解明	加藤 修明	内科(3)	650,000	補委 日本学術振興会
神経発達症の遺伝学的背景の探索	高野 亨子	遺伝子医療研究センター	0	補委 日本学術振興会
慢性腎臓病における血清スルファチド異常の臨床的重要性と機序の解明	上條 祐司	内科(2)	0	補委 日本学術振興会
高い安全性と優れた骨形性能をもつ世界初新型PEEK頸椎スペーサーの開発	伊東 清志	脳神経外科	0	補委 日本学術振興会
革新的脳生検術「ボーリングバイオブシー法」の開発	荻原 利浩	脳神経外科	0	補委 日本学術振興会
KRAS変異大腸癌に有効な治療標的分子の解析	北沢 将人	消化器外科	910,000	補委 日本学術振興会
閉経モデルマウス滑膜内腱の網羅的遺伝子発現解析による狭窄性腱鞘炎の病態解明	岩川 紘子	整形外科	0	補委 日本学術振興会
互恵的相互依存に着目した医療系協調学習の分析と改善	清水 郁夫	医療安全管理室	0	補委 日本学術振興会
心臓リハビリテーション介入と運動機能改善および医療費削減効果の関係	山本 周平	リハビリテーション部	780,000	補委 日本学術振興会
ネオアンチゲンから展開する膵臓癌に対する複合的免疫療法の開発	柳沢 龍	輸血部	1,300,000	補委 日本学術振興会
新規開発超細径内視鏡と屈曲機能付ガイドシースを用いた末梢肺野小病変の確定診断	安尾 将法	呼吸器・感染症・アレルギー内科	910,000	補委 日本学術振興会
4級アミン局所麻酔薬は末梢痛覚神経だけを選択的に遮断できるか	布施谷 仁志	手術部	650,000	補委 日本学術振興会
先天性橈尺骨癒合症の候補遺伝子SMPDL3Aの機能解析	中村 幸男	整形外科	910,000	補委 日本学術振興会
脊柱ライメント不良者の動的バランス評価:一般住民対象スクリーニング法の開発	池上 章太	リハビリテーション部	520,000	補委 日本学術振興会
TRPV1阻害による心筋障害リバースリモデリングと心室性不整脈耐性の検討	吉江 幸司	不整脈治療学講座	390,000	補委 日本学術振興会
全身性動脈硬化疾患の発症とその予後における石灰化抑制因子の意義の研究	千田 啓介	循環器内科	650,000	補委 日本学術振興会
近位尿細管特異的PPAR α 欠損マウスを用いたPPAR α の腎保護作用の検討	山田 洋輔	内科(2)	1,430,000	補委 日本学術振興会
包括的アプローチによる血管型エーラス・ダンロス症候群の分子遺伝学的発症機序の解明	山口 智美	遺伝子医療研究センター	1,690,000	補委 日本学術振興会
腹腔鏡手術の痛み:モデルラットによる術中術後痛のメカニズム解明と有効鎮痛法の検討	中村 博之	麻酔科蘇生科	0	補委 日本学術振興会
思春期特発性側弯症に対する低侵襲矯正固定術のための固定範囲決定手法	大場 悠己	整形外科	1,430,000	補委 日本学術振興会
カーボンナノマテリアル誘導骨芽細胞活性化機序に基づく骨形成促進薬の開発	出田 宏和	整形外科	1,170,000	補委 日本学術振興会
人工関節インプラントにおける晩期感染症の病態解析	鎌仲 貴之	整形外科	1,040,000	補委 日本学術振興会
エーラス・ダンロス症候群における脊椎病変の病態解明・治療法の確立	上原 将志	整形外科	1,040,000	補委 日本学術振興会
OTOA遺伝子変異による難聴の臨床像と発症メカニズムに関する研究	北野 友裕	耳鼻いんこう科	1,300,000	補委 日本学術振興会
消化器癌における近赤外光線免疫療法(NIR-PIT)の応用を目指した研究	長屋 匡信	内視鏡センター	1,300,000	補委 日本学術振興会
治療遺伝子搭載ナノ粒子を用いた小児・AYA世代がんに対する革新的治療法の開発	齋藤 章治	小児科	1,430,000	補委 日本学術振興会
細胞接着分子群と細胞増殖シグナル解析に基づいた若年性骨髄単球性白血病治療法の開発	坂下 一夫	小児科	1,040,000	補委 日本学術振興会
腸内細菌叢メタゲノム解析による閉塞性黄疸に伴う肝再生障害改善療法の開発	清水 明	消化器外科	650,000	補委 日本学術振興会
長期ニコチン摂取が及ぼす腎・膀胱の組織学的機能的影響と禁煙効果の解析	永井 崇	泌尿器科学	1,170,000	補委 日本学術振興会
内耳不動毛ミオシンの挙動、およびその分子輸送機能とシナリ調節機構の統合的解明	北尻 真一郎	人工聴覚器学	390,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
唾液バイオマーカーは術後せん妄の新たな予測因子となりうるか	福家 愛(志村愛)	心臓血管外科	1,339,000	日本学術振興会
IBD関連腫瘍におけるSATB2発現に関与する分子生物学的メカニズムの探索	岩谷 舞	臨床検査部	2,210,000	日本学術振興会
成人ASDのうつ状態合併のリスク	金子 智喜	放射線科	910,000	日本学術振興会
IgG4関連大動脈周囲炎における動脈瘤形成に関与する臨床的、画像的因子の研究	高橋 正明	放射線科	390,000	日本学術振興会
消化器病自己免疫性疾患発症と細胞膜上HLA抗原発現量多様性の解析	山崎 智生	内科(2)	2,210,000	日本学術振興会
甲状腺ホルモン結合蛋白(CRYM)欠損における肥満及びPPAR γ 上昇と機序の解明	大久保 洋輔	糖尿病・内分泌代謝内科	520,000	日本学術振興会
肝疾患根治術の為の肝組織の統合的理解と肝再生療法への展開	安川 紘矢	消化器外科	520,000	日本学術振興会
慢性心筋梗塞に対する自家iPS細胞を用いた新たな心筋再生療法の開発	市村 創	心臓血管外科	910,000	日本学術振興会
移植後拒絶反応におけるNLRP3の役割	五味淵 俊仁	心臓血管外科	1,170,000	日本学術振興会
肺癌における発癌や癌の進行への細菌叢の影響	小山 力	呼吸器外科	2,080,000	日本学術振興会
肺癌の経気腔進展(STAS)における転移機序の解明	江口 隆	呼吸器外科	910,000	日本学術振興会
マクロファージの β 2アドレナリン受容体シグナルを介した周術期鎮痛法の開発	若林 諒	麻酔科蘇生科	2,210,000	日本学術振興会
アプロレグナロンおよびオキシトシンは帝王切開術後遷延性術後痛の発症に影響するか	伊藤 真理子	麻酔科蘇生科	1,690,000	日本学術振興会
手術侵襲による術中脳波変化と術後痛の関連	田中 竜介	麻酔科蘇生科	780,000	日本学術振興会
大動物モデルを用いた膝前十字靭帯再建における高強度縫合糸補強の有用性評価	天正 恵治	整形外科	0	日本学術振興会
Myostatinによる未分化間葉系細胞の腱細胞への分化誘導メカニズムの解明	北村 陽	整形外科	1,430,000	日本学術振興会
骨肉腫を標的としたエクソソーム様細胞外小胞化ナノマテリアルを応用したDDS開発	傍島 淳	整形外科	1,690,000	日本学術振興会
血管異常と血栓の共通基盤分子を通じた形成外科上の血管病理の解明	細見 謙登	高度救命救急センター	1,560,000	日本学術振興会
敗血症患者に対する専従理学療法士配置による早期リハビリテーション効果の検討	酒井 康成	リハビリテーション部	390,000	日本学術振興会
遷延性術後痛における、CGRP-RAMP1系の病態生理学的意義の解明と応用展開	松井 周平	麻酔科蘇生科	1,430,000	日本学術振興会
生涯学習としての患者安全:事故事例から自己研鑽をもたらす学習科学的戦略の確立	清水 郁夫	医療安全管理室	2,210,000	日本学術振興会
変性HDL結合蛋白質の機能とヒトにおける意義の解明	宇佐美 陽子	臨床検査部	611,000	日本学術振興会
唾液PRPsの加齢に伴う心腎血管病の新規バイオマーカー・治療標的としての意義	樋口 智子	リハビリテーション部	520,000	日本学術振興会
薬剤性間質性肺炎のスコアリングシステムによる診断基準の構築とバイオマーカーの同定	牛木 淳人	呼吸器・感染症・アレルギー内科	520,000	日本学術振興会
CD8制御性T細胞による臓器移植後免疫寛容をめざした革新的細胞移入療法の開発	野竹 剛	消化器外科	3,250,000	日本学術振興会
ステントグラフト留置後瘤径拡大の解明-位相差X線CT法による微細構造の検討-	山本 高照	集中治療部	1,404,000	日本学術振興会
わが国初の高い抗菌性と骨形性能をもつハイブリッドPEEK製骨疾患治療材の開発	伊東 清志	脳神経外科	1,300,000	日本学術振興会
チタンファイバーを用いた新規生体材料の脊椎椎体間インプラントへの応用	三村 哲彦	整形外科	520,000	日本学術振興会
Myostatinによる腱損傷後治癒促進効果の実証と新規治療法確立への展開	林 正徳	形成外科	1,300,000	日本学術振興会
新規骨肉腫治療薬の開発 スクロスチンの作用機序・作用点・抗癌剤との併用効果解析	岡本 正則	整形外科	1,170,000	日本学術振興会
新たに合成した子宮内膜癌に対する抗腫瘍性化合物の作用機序の解明	山田 靖	産科婦人科	650,000	日本学術振興会
ワサビ由来天然化合物6-MITCの子宮体癌に対する抗腫瘍作用の研究	布施谷 千穂	産科婦人科	1,040,000	日本学術振興会
SIRT1を標的とした新規卵巣癌治療の有効性の検討	浅香 亮一	分娩部	1,040,000	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
最適治療法確立のための遺伝的・疫学的細分アプローチによる突発性難聴の病態解明	鬼頭 良輔	耳鼻いんこう科	3,185,000	補委 日本学術振興会
口腔扁平上皮癌頸部リンパ節転移被膜外浸潤メカニズムの分子生物学的検討	山田 慎一	特殊歯科・口腔外科	1,235,000	補委 日本学術振興会
トリプルネガティブ乳癌に対する局所エビジェネティック治療を用いた免疫療法法の創出	大場 崇旦	乳腺・内分泌外科	1,300,000	補委 日本学術振興会
肺癌に対する非ウイルス遺伝子改変CAR-T細胞を用いた新規治療法の開発	三浦 健太郎	呼吸器外科	1,430,000	補委 日本学術振興会
大腸癌網羅的mRNA発現解析による高転移性癌予測サイトカインマーカーの探索	中嶋 智之	臨床検査部	3,510,000	補委 日本学術振興会
ヒトiPS細胞由来心筋細胞の新規移植方法の開発	小林 秀樹	循環器内科	2,470,000	補委 日本学術振興会
肺気腫合併肺高血圧ラットモデルを用いた低酸素誘導性血管新生蛋白の定量解析	和田 洋典	内視鏡センター	1,430,000	補委 日本学術振興会
胸腺腫および関連自己免疫疾患におけるT細胞の網羅的遺伝子解析による免疫異常の解明	川上 徹	血液内科	3,380,000	補委 日本学術振興会
筋肉内粘液腫における最適なGNAS遺伝子スクリーニング法の開発	鬼頭 宗久	整形外科	2,730,000	補委 日本学術振興会
ストレスシールドリングフリーを実現:新規開発材料によるチタンファイバープレート	滝沢 崇	リハビリテーション部	2,600,000	補委 日本学術振興会
分葉状頸管腺過形成から子宮頸部胃型粘液性癌発癌過程の解明	井田 耕一	分娩部	1,430,000	補委 日本学術振興会
固形がん患者の歯周状態とがん免疫監視機構との関連性に関する検討	酒井 洋徳	特殊歯科・口腔外科	1,300,000	補委 日本学術振興会
脳腫瘍の組織・解剖学的所見、及びDNA量を相関解析するための新統合システムの確立	藤井 雄	整形外科	3,510,000	補委 日本学術振興会
FFRにて血行再建を見送った冠動脈病変におけるNIRSを用いたリスク層別化と予後	植木 康志	循環器内科	1,430,000	補委 日本学術振興会
周産期における肝取り込みトランスポーターの活性評価による甲状腺ホルモンの挙動解析	内藤 隆文	薬剤部	2,426,975	補委 日本学術振興会
CD116 陽性急性骨髄性白血病および若年性骨髄単球性白血病を対象とする非ウイルス遺伝子改変GMR CAR-T細胞のFIH医師主導治験	中沢 洋三	小児科	144,820,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED)
イメージングデータを用いた皮膚がん 診断ソリューション開発	奥山 隆平	皮膚科	106,171,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED)
早期爪部メラノーマに対するソフトウェア単体診断補助プログラムの有効性を検証する臨床性能試験	皆川 茜	皮膚科	14,771,250	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED)
がんに対するpiggyBac遺伝子導入新規キメラ抗原受容体 (CAR) -T細胞療法開発に関する国際共同研究	齋藤 章治	小児科	38,942,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED)
IL-12発現型がん治療用ウイルスを用いた悪性黒色腫に対する革新的ウイルス免疫療法開発 (AMED橋渡し研究プログラム)	奥山 隆平	皮膚科	104,000,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED)

合計 83

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Nagm A, Ogiwara T, Nishikawa A, et al.	脳神経外科	Petroclival tension pneumocephalus: an unrivalled life threatening complication linked to molecular-targeted therapy	Br J Neurosurg. 2021 Jun;35(3):361-363. doi: 10.1080/02688697.2018.1 457772. Epub 2018 Apr 2.	Case Reports
2	Ichikawa T, Shimajima Y, Kishida D, et al.	脳神経内科/リウマチ・膠原 病内科	Primary central nervous system lymphoma in neuropsychiatric systemic lupus erythematosus: case- based review	Rheumatol Int. 2021 May;41(5):1009-1017. doi: 10.1007/s00296-020- 04569-6. Epub 2020 Apr 6.	Case Reports
3	Kako S, Iwaya Y, Nagaya T, et al.	消化器内科	Successful treatment of gallstone ileus with double-balloon enteroscopy-assisted electrohydraulic lithotripsy	Dig Liver Dis. 2021 Apr;53(4):498-499. doi: 10.1016/j.dld.2020.07.002 . Epub 2020 Jul 17.	Case Reports
4	Yasukawa S, Uehara M, Suzuki T, et al.	整形外科	The first experience of denosumab therapy on patients with Ehlers-Danlos syndrome and osteoporosis: detailed observation of two patients	Mod Rheumatol Case Rep. 2021 Jul;5(2):377-383. doi: 10.1080/24725625.2020.1 799493. Epub 2021 Mar 15.	Case Reports
5	Sasayama D, Kudo T, Kaneko W, et al.	精神科	Brief Report: Cumulative Incidence of Autism Spectrum Disorder Before School Entry in a Thoroughly Screened Population	J Autism Dev Disord. 2021 Apr;51(4):1400-1405. doi: 10.1007/s10803-020- 04619-9.	Journal Article
6	Kato T, Nagae A, Sakai T, et al.	循環器内科	Successful bailout of stent graft stuck in stent occlusion lesion	Cardiovasc Interv Ther. 2021 Oct;36(4):535-536. doi: 10.1007/s12928-020- 00695-x. Epub 2020 Aug	Journal Article

7	Tensho K, Iwaasa T, Koyama S, et al.	整形外科	Potential risk of medial cortex perforation due to peg position of morphometric tibial component in unicompartmental knee arthroplasty: a computer simulation study	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2022 Feb;30(2):536-544. doi: 10.1007/s00167-020-06242-8. Epub 2020 Aug 31.	Journal Article
8	Hondo N, Miyagawa Y, Kitazawa M, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	Laparoscopic abdominosacral resection for rectal and anal canal carcinoma with pagetoid spread	Asian J Endosc Surg. 2021 Jul;14(3):624-627. doi: 10.1111/ases.12856. Epub 2020 Sep 1.	Case Reports
9	Arai S, Kamiyo T, Hayashi F, et al.	保健学科	Screening method for congenital dysfibrinogenemia using clot waveform analysis with the Clauss method	Int J Lab Hematol. 2021 Apr;43(2):281-289. doi: 10.1111/ijlh.13358. Epub 2020 Oct 8.	Journal Article
10	Shimizu A, Motoyama H, Kubota K, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	Safety and Oncological Benefit of Hepatopancreatoduodenectomy for Advanced Extrahepatic Cholangiocarcinoma with Horizontal Tumor Spread: Shinshu University Experience	Ann Surg Oncol. 2021 Apr;28(4):2012-2025. doi: 10.1245/s10434-020-09209-8. Epub 2020 Oct 12.	Journal Article
11	Shimizu A, Soejima Y	消化器・移植・小児外科学分野	ASO Author Reflections: Is Major Hepatopancreatoduodenectomy Beneficial for Patients with Advanced and Widespread Extrahepatic Cholangiocarcinoma?	Ann Surg Oncol. 2021 Apr;28(4):2026-2027. doi: 10.1245/s10434-020-09261-4. Epub 2020 Oct 21.	Journal Article
12	Hardian RF, Hanaoka Y, Funato K, et al.	脳神経外科	Assessment of collateral venous flow using temporary clip placement at ICG videoangiography	Acta Neurochir (Wien). 2021 Sep;163(9):2533-2536. doi: 10.1007/s00701-020-04617-x. Epub 2020 Oct 21.	Journal Article

13	Hanaoka Y, Koyama JI, Fujii Y, et al.	脳神経外科	Bilateral Transradial Approach for Coil Embolization of Basilar Artery Aneurysms Associated with an Unfavorable Vertebral Artery Anatomy : Initial Experience with Role-sharing Technique	Clin Neuroradiol. 2021 Sep;31(3):699-707. doi: 10.1007/s00062-020-00971-6. Epub 2020 Nov 17.	Journal Article
14	Eguchi T, Hamanaka K, Shimizu K	呼吸器外科	Thymic Malignancy Still Needs Aggressive Surgery: Safety and Oncologic Feasibility of Superior Vena Cava Resection	Ann Thorac Surg. 2021 Jul;112(1):277-278. doi: 10.1016/j.athoracsur.2020.08.087. Epub 2020 Nov 16.	Journal Article
15	Hayashi W, Iimura M, Horiuchi K, et al.	保健学科	Occurrence of bla(NDM-1) in a Clinical Isolate of Acinetobacter Iwoffii in Japan: Comparison of bla(NDM-1)-Harboring Plasmids between A. Iwoffii and A. pittii Originated from a Hospital Sink	Jpn J Infect Dis. 2021 May 24;74(3):252-254. doi: 10.7883/yoken.JJID.2020.806. Epub 2020 Nov 30.	Journal Article
16	Gomibuchi T, Seto T, Naito K, et al.	心臓血管外科	Strategies to improve outcomes for acute type A aortic dissection with cerebral malperfusion	Eur J Cardiothorac Surg. 2021 Apr 13;59(3):666-673. doi: 10.1093/ejcts/ezaa376.	Journal Article
17	Shigemura T, Maruyama Y, Shigeto S, et al.	小児科	Orbital Epstein-Barr virus-related post-transplant lymphoproliferative disorder in a 13-year-old girl with cord blood transplantation	Transpl Infect Dis. 2021 Jun;23(3):e13536. doi: 10.1111/tid.13536. Epub 2020 Dec 18.	Case Reports
18	Yanagisawa R	輸血部	Preventing adverse reactions in pediatric transfusions using washed platelet concentrate	Pediatr Int. 2021 Apr;63(4):391-403. doi: 10.1111/ped.14572. Epub 2021 Mar 27.	Review
19	Higuchi S, Ogawa M, Masuda Y, et al.	整形外科	3D-CT stress test for the assessment of CFL insufficiency	J Orthop Sci. 2021 Nov;26(6):1074-1080. doi: 10.1016/j.jos.2020.10.012. Epub 2020 Dec 6.	Journal Article

20	Tsunekawa K, Kondoh S, Noguchi M, et al.	形成再建外科	Aesthetic outcomes following adipose flap versus fillet flap technique for radial polydactyly: a comparison study	J Hand Surg Eur Vol. 2021 May;46(4):378-383. doi: 10.1177/1753193420979220. Epub 2020 Dec 10.	Journal Article
21	Uehara M, Takahashi J, Ikegami S, et al.	整形外科	Values for the Japanese Orthopaedic Association Back Pain Evaluation Questionnaire in the general elderly population: A Japanese cohort survey randomly sampled from a basic resident registry	J Orthop Sci. 2021 Sep;26(5):774-778. doi: 10.1016/j.jos.2020.08.010. Epub 2020 Dec 10.	Journal Article
22	Nakamura T, Sasayama D, Hagiwara T, et al.	精神科	Reduced functional connectivity in the prefrontal cortex of elderly catatonia patients: A longitudinal study using functional near-infrared spectroscopy	Neurosci Res. 2021 Sep;170:322-329. doi: 10.1016/j.neures.2020.10.004. Epub 2020 Dec 11.	Journal Article
23	Akahane J, Ushiki A, Kosaka M, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー内科	Blood urea nitrogen-to-serum albumin ratio and A-DROP are useful in assessing the severity of Pneumocystis pneumonia in patients without human immunodeficiency virus infection	J Infect Chemother. 2021 May;27(5):707-714. doi: 10.1016/j.jiac.2020.12.017. Epub 2020 Dec 26.	Journal Article
24	Tanaka A, Okamoto M, Kito M, et al.	整形外科	Points of consideration when performing surgical procedures for proximal femoral bone metastasis	J Orthop Sci. 2022 Jan;27(1):229-234. doi: 10.1016/j.jos.2020.11.011. Epub 2020 Dec 28.	Journal Article
25	Ohya A, Ichinohe F, Matoba H, et al.	放射線科	Useful preoperative examination findings to classify the grade of ovarian primary mucinous tumor	Abdom Radiol (NY). 2021 Jun;46(6):2393-2402. doi: 10.1007/s00261-020-02918-4. Epub 2021 Jan 2.	Journal Article

26	Komatsu M, Ekelund M, Horio H, et al.	糖尿病・内分泌代謝内科	Efficacy and safety of fast-acting insulin aspart compared with insulin aspart in combination with insulin degludec in Japanese adults with type 1 diabetes: a subgroup analysis of the randomized onset 8 trial	Endocr J. 2021 Apr 28;68(4):429-440. doi: 10.1507/endocrj.EJ20-0606. Epub 2020 Dec 26.	Journal Article
27	Okada A, Tabata H, Shoda M, et al.	循環器内科	Safe and effective transvenous lead extraction for elderly patients utilizing non-laser and laser tools: a single-center experience in Japan	Heart Vessels. 2021 Jun;36(6):882-889. doi: 10.1007/s00380-020-01761-3. Epub 2021 Jan 4.	Journal Article
28	Yamamoto Y, Miyagawa Y, Kitazawa M, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	A perpendicular approach to mesorectal excision using an articulating tissue sealer in laparoscopic sigmoidectomy—a video vignette	Colorectal Dis. 2021 Apr;23(4):1008. doi: 10.1111/codi.15516. Epub 2021 Feb 5.	Letter
29	Kakihara S, Hirano T, Matsuda Y, et al.	眼科	Deposits on Retinal Surface Seen on OCT in Ocular Amyloidosis	Ophthalmol Retina. 2021 Oct;5(10):1005-1008. doi: 10.1016/j.oret.2020.12.028. Epub 2021 Jan 7.	Journal Article
30	Nakamura C, Miyosawa Y, Motoki N, et al.	小児科	Relationship between placental weight and late-onset circulatory collapse	Pediatr Int. 2021 Oct;63(10):1205-1211. doi: 10.1111/ped.14609. Epub 2021 Aug 19.	Journal Article
31	Koyama M, Yamazaki T, Joshita S, et al.	内科学第二	An Autopsy Case of Primary Biliary Cholangitis with Histological Submassive Hepatic Necrosis Caused by Acute Hepatitis E Virus Infection	Intern Med. 2021 Jun 15;60(12):1863-1870. doi: 10.2169/internalmedicine.6337-20. Epub 2021 Feb 1.	Case Reports
32	Konno S, Yanagisawa R, Motoki N, et al.	臨床検査部	Predictive factors of poor blood collecting flow during leukocyte apheresis for cellular therapy	Ther Apher Dial. 2021 Dec;25(6):1001-1011. doi: 10.1111/1744-9987.13631. Epub 2021 Mar 16.	Journal Article

33	Ide Y, Yanagisawa R, Kobayashi J, et al.	臨床検査部	Relationship between allergic sensitisation-associated single-nucleotide polymorphisms and allergic transfusion reactions and febrile non-haemolytic transfusion reactions in paediatric cases	Blood Transfus. 2022 Mar;20(2):94-102. doi: 10.2450/2021.0230-20. Epub 2021 Feb 3.	Journal Article
34	Minagawa T, Oguchi T, Saitou T, et al.	泌尿器科	Impact of low-dose tadalafil on adverse events after low-dose-rate brachytherapy for prostate cancer: A bi-center randomized open-label trial	Int J Urol. 2021 Apr;28(4):432-438. doi: 10.1111/iju.14487. Epub 2021 Feb 7.	Journal Article
35	Kobayashi H, Tabata H, Shoin W, et al.	循環器内科	A case of transient ventricular pre-excitation associated with takotsubo cardiomyopathy	J Electrocardiol. 2021 Mar-Apr;65:73-75. doi: 10.1016/j.jelectrocard.2021.01.005. Epub 2021 Jan 21.	Case Reports
36	Hirano T, Toriyama Y, Takamura Y, et al.	眼科	Treat-and-extend therapy with aflibercept for diabetic macular edema: a prospective clinical trial	Jpn J Ophthalmol. 2021 May;65(3):354-362. doi: 10.1007/s10384-021-00820-0. Epub 2021 Feb 9.	Journal Article
37	Omodaka T, Minagawa A, Okuyama R	皮膚科	Ultraviolet-related skin cancers distribute differently on the face surface	Br J Dermatol. 2021 Jul;185(1):205-207. doi: 10.1111/bjd.19875. Epub 2021 Apr 6.	Letter
38	Yasukawa K, Shimizu A, Motoyama H, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	Applicability of sentinel lymph node oriented treatment strategy for gallbladder cancer	PLoS One. 2021 Feb 12;16(2):e0247079. doi: 10.1371/journal.pone.0247079. eCollection 2021.	Journal Article
39	Iwaya M, Hayashi H, Nakajima T, et al.	臨床検査部	Colitis-associated colorectal adenocarcinomas frequently express claudin 18 isoform 2: implications for claudin 18.2 monoclonal antibody therapy	Histopathology. 2021 Aug;79(2):227-237. doi: 10.1111/his.14358. Epub 2021 Apr 21.	Journal Article
40	Kawamoto M, Yamada SI, Gibo T, et al.	特殊歯科・口腔外科	Relationship between dry mouth and hypertension	Clin Oral Investig. 2021 Sep;25(9):5217-5225. doi: 10.1007/s00784-021-03829-4. Epub 2021 Feb	Journal Article

41	Komatsu M, Watada H, Kaneko S, et al.	糖尿病・内分泌代謝内科	Efficacy and safety of the fixed-ratio combination of insulin degludec and liraglutide by baseline glycosylated hemoglobin, body mass index and age in Japanese individuals with type 2 diabetes: A subgroup analysis of two phase III trials	J Diabetes Investig. 2021 Sep;12(9):1610-1618. doi: 10.1111/jdi.13525. Epub 2021 Mar 24.	Journal Article
42	Sonehara K, Tateishi K, Hirabayashi T, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー内科	A Case of Lung Adenocarcinoma with Long-Term Response after Late-Onset Pembrolizumab-Induced Acute Adrenal Insufficiency	Case Rep Oncol. 2021 Jan 11;14(1):1-7. doi: 10.1159/000508068. eCollection 2021 Jan-Apr.	Case Reports
43	Sonehara K, Tateishi K, Araki T, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー内科	The Role of Immune-Related Adverse Events in Prognosis and Efficacy Prediction for Patients with Non-Small Cell Lung Cancer Treated with Immunotherapy: A Retrospective Clinical Analysis	Oncology. 2021;99(5):271-279. doi: 10.1159/000511999. Epub 2021 Feb 25.	Journal Article
44	Kishida D, Ushiyama S, Shimojima Y, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原病内科	Painless Panniculitis upon the Treatment of Clinically Amyopathic Dermatomyositis with Anti-MDA5 Antibody	Intern Med. 2021 Aug 15;60(16):2697-2700. doi: 10.2169/internalmedicine.6931-20. Epub 2021 Mar 8.	Case Reports
45	Sonehara K, Tateishi K, Araki T, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー内科	Prognostic value of the geriatric nutritional risk index among patients with previously treated advanced non-small cell lung cancer who subsequently underwent immunotherapy	Thorac Cancer. 2021 May;12(9):1366-1372. doi: 10.1111/1759-7714.13909. Epub 2021 Mar 12.	Journal Article
46	Hirabayashi K, Hoshiyama K, Imai A, et al.	眼科	Relationship between central retinal sensitivity, thickness, perfusion density and visual acuity in patients with branch retinal vein occlusion	Acta Ophthalmol. 2022 Mar;100(2):e610-e611. doi: 10.1111/aos.14841. Epub 2021 Mar 14.	Letter

47	Yoshie K, Yamasaki M, Yokoyama M, et al.	循環器内科	Prognostic benefits of prior amiodarone or β -blocker use before the onset of ventricular arrhythmia with hemodynamic collapse	Heart Vessels. 2021 Sep;36(9):1430-1437. doi: 10.1007/s00380-021-01821-2. Epub 2021 Mar 15.	Journal Article
48	Kakahara S, Hirano T, Imai A, et al.	眼科	Micropulse laser trabeculoplasty under maximal tolerable glaucoma eyedrops: treatment effectiveness and impact of surgical expertise	Int J Ophthalmol. 2021 Mar 18;14(3):388-392. doi: 10.18240/ijo.2021.03.09. eCollection 2021.	Journal Article
49	Nakazawa H, Yamaguchi T, Sakai H, et al.	血液内科	A novel germline GATA2 frameshift mutation with a premature stop codon in a family with congenital sensory hearing loss and myelodysplastic syndrome	Int J Hematol. 2021 Aug;114(2):286-291. doi: 10.1007/s12185-021-03130-w. Epub 2021 Mar 23.	Case Reports
50	Hayashi W, Yoshida S, Izumi K, et al.	保健学科	Genomic characterisation and epidemiology of nosocomial <i>Serratia marcescens</i> isolates resistant to ceftazidime and their plasmids mediating rare bla(TEM-61)	J Glob Antimicrob Resist. 2021 Jun;25:124-131. doi: 10.1016/j.jgar.2021.03.010. Epub 2021 Mar 21.	Journal Article
51	Nakamura K, Kiniwa Y, Okuyama R	皮膚科	CCL5 production by fibroblasts through a local renin-angiotensin system in malignant melanoma affects tumor immune responses	J Cancer Res Clin Oncol. 2021 Jul;147(7):1993-2001. doi: 10.1007/s00432-021-03612-8. Epub 2021 Mar 26.	Journal Article
52	Yanagisawa R, Nakazawa H, Nishina S, et al.	輸血部	Investigation of risk factors associated with erythrocyte engraftment after ABO-incompatible hematopoietic stem cell transplantation	Clin Transplant. 2021 Jun;35(6):e14300. doi: 10.1111/ctr.14300. Epub 2021 May 12.	Journal Article
53	Yoshiyama Y, Sugiyama Y, Ishida K, et al.	麻酔科蘇生科	Plantar incision with severe muscle injury can be a cause of long-lasting postsurgical pain in the skin	Life Sci. 2021 Jun 15;275:119389. doi: 10.1016/j.lfs.2021.119389. Epub 2021 Mar 24.	Journal Article

54	Fujii Y, Ogiwara T, Yamazaki D, et al.	脳神経外科	Late malignant transformation of anaplastic meningioma 18 years after primary surgery: A case report	J Clin Neurosci. 2021 Apr;86:136-138. doi: 10.1016/j.jocn.2021.01.027. Epub 2021 Feb 5.	Case Reports
55	Wakabayashi SI, Joshita S, Kimura K, et al.	内科学第二	Protocol: Prospective observational study investigating the prevalence and clinical outcome of portopulmonary hypertension in Japanese patients with chronic liver disease	PLoS One. 2021 Apr 1;16(4):e0249435. doi: 10.1371/journal.pone.0249435. eCollection 2021.	Journal Article
56	Ogiwara T, Hori T, Fujii Y, et al.	脳神経外科	Effectiveness of the intraoperative magnetic resonance imaging during endoscopic endonasal approach for acromegaly	Pituitary. 2021 Oct;24(5):690-697. doi: 10.1007/s11102-021-01144-5. Epub 2021 Apr 3.	Journal Article
57	Ogiwara T, Suzuki Y, Hasegawa T, et al.	脳神経外科	Tailor-Made Endoscopic Surgical Strategy for Severe Intraventricular Hemorrhage with Obstructive Hydrocephalus	World Neurosurg. 2021 Jun;150:e771-e776. doi: 10.1016/j.wneu.2021.03.142. Epub 2021 Apr 2.	Case Reports
58	Yanagisawa S, Takahashi Y, Sasaki J, et al.	放射線科	Absolute quantitative analysis of cardiac amyloidosis using SPECT/CT with (99m)Tc-pyrophosphate	Amyloid. 2021 Sep;28(3):213-214. doi: 10.1080/13506129.2021.1903418. Epub 2021 Apr 7.	Letter
59	Hayashi W, Iimura M, Soga E, et al.	保健学科	Presence of Colistin- and Tigecycline-Resistant Klebsiella pneumoniae ST29 in Municipal Wastewater Influent in Japan	Microb Drug Resist. 2021 Oct;27(10):1433-1442. doi: 10.1089/mdr.2020.0514. Epub 2021 Apr 9.	Journal Article
60	Tokida R, Uehara M, Nakano M, et al.	整形外科	Reference values for bone metabolism in a Japanese cohort survey randomly sampled from a basic elderly resident registry	Sci Rep. 2021 Apr 9;11(1):7822. doi: 10.1038/s41598-021-87393-7.	Journal Article

61	Yamazaki S, Akazawa Y, Obinata H, et al.	小児科	Ventricular myocardial response to exercise in patients with Fontan circulation	J Echocardiogr. 2021 Dec;19(4):212-221. doi: 10.1007/s12574-021-00525-w. Epub 2021 Apr 11.	Journal Article
62	Yasukawa K, Shimizu A, Kubota K, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	The survival benefit of surgery for perihilar cholangiocarcinoma in octogenarians: Shinshu University experience	J Surg Oncol. 2021 Jul;124(1):67-78. doi: 10.1002/jso.26488. Epub 2021 Apr 12.	Journal Article
63	Yamazaki D, Hanaoka Y, Koyama JI, et al.	脳神経外科	Intraspinal canal platform system for coil embolization of anterior spinal artery aneurysm associated with spinal cord arteriovenous malformation: a case report and literature review	Br J Neurosurg. 2021 Apr 14:1-6. doi: 10.1080/02688697.2021.1910201. Online ahead of print.	Journal Article
64	Kawachi S, Yamamoto S, Nishie K, et al.	保健学科	The effectiveness of supplemental oxygen during exercise training in patients with chronic obstructive pulmonary disease who show severe exercise-induced desaturation: a protocol for a meta-regression analysis and systematic review	Syst Rev. 2021 Apr 14;10(1):110. doi: 10.1186/s13643-021-01667-9.	Journal Article
65	Takahashi K, Nakamura T, Sasayama D, et al.	精神科	Orthostatic Hypotension: Uncommon Side Effect of Aripiprazole	Psychiatr Danub. 2021 Spring;33(1):63-64. doi: 10.24869/psyd.2021.63.	Journal Article
66	Hanafusa H, Hidaka Y, Yamaguchi T, et al.	遺伝子医療研究センター	Heterozygous missense variant in TRPC6 in a boy with rapidly progressive infantile nephrotic syndrome associated with diffuse mesangial sclerosis	Am J Med Genet A. 2021 Jul;185(7):2175-2179. doi: 10.1002/ajmg.a.62216. Epub 2021 Apr 21.	Case Reports

67	Fujii Y, Ogiwara T, Goto T, et al.	脳神経外科	Microscopic Navigation-Guided Fence Post Technique for Maximal Tumor Resection During Glioma Surgery	World Neurosurg. 2021 Jul;151:e355-e362. doi: 10.1016/j.wneu.2021.04.044. Epub 2021 Apr 19.	Journal Article
68	Kuwahara K	循環器内科	The natriuretic peptide system in heart failure: Diagnostic and therapeutic implications	Pharmacol Ther. 2021 Nov;227:107863. doi: 10.1016/j.pharmthera.2021.107863. Epub 2021 Apr 21.	Review
69	Nakamura K, Yagy S, Hirota S, et al.	小児科	Autologous antigen-presenting cells efficiently expand piggyBac transposon CAR-T cells with predominant memory phenotype	Mol Ther Methods Clin Dev. 2021 Mar 23;21:315-324. doi: 10.1016/j.omtm.2021.03.011. eCollection 2021 Jun 11.	Journal Article
70	Iguchi T, Shimizu A, Kubota K, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	Lymphoepithelial cyst mimicking pancreatic cancer: a case report and literature review	Surg Case Rep. 2021 Apr 29;7(1):108. doi: 10.1186/s40792-021-01191-x.	Journal Article
71	Osawa R, Ikegami S, Horiuchi H, et al.	リハビリテーション部	Osteoporosis Detection by Physical Function Tests in Resident Health Exams: A Japanese Cohort Survey Randomly Sampled from a Basic Resident Registry	J Clin Med. 2021 Apr 27;10(9):1896. doi: 10.3390/jcm10091896.	Journal Article
72	Inomata Y, Hanaoka Y, Koyama JI, et al.	脳神経外科	Endovascular Revascularization with a Scoring Balloon for Carotid In-Stent Restenosis : Case Report and Literature Review	Clin Neuroradiol. 2021 Dec;31(4):1199-1204. doi: 10.1007/s00062-021-01016-2. Epub 2021 Apr 30.	Case Reports
73	Sugiyama Y, Aiba K, Arai N, et al.	麻酔科蘇生科	Successful Management of a Patient with Intraoperative Bleeding of More than 80,000 mL and Usefulness of QTc Monitoring for Calcium Correction	Case Rep Anesthesiol. 2021 Apr 15;2021:6635696. doi: 10.1155/2021/6635696. eCollection 2021.	Case Reports
74	Sasayama D, Kuge R, Toibana Y, et al.	精神科	Trends in Autism Spectrum Disorder Diagnoses in Japan, 2009 to 2019	JAMA Netw Open. 2021 May 3;4(5):e219234. doi: 10.1001/jamanetworkopen.2021.9234.	Journal Article

75	Araki T, Kobayashi T, Kobayashi S, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー 内科	Thymic epithelial tumor with superior vena cava syndrome diagnosed by percutaneous endovascular tumor biopsy: A report of two cases	Respir Investig. 2021 Sep;59(5):695-699. doi: 10.1016/j.resinv.2021.04. 003. Epub 2021 May 8.	Case Reports
76	Saida T	皮膚科	[Melanoma and Non- Melanoma Skin Cancers]	Gan To Kagaku Ryoho. 2021 Apr;48(4):499.	Journal Article
77	Hasegawa A, Saito S, Narimatsu S, et al.	小児科	Mutated GM-CSF- based CAR-T cells targeting CD116/CD131 complexes exhibit enhanced anti-tumor effects against acute myeloid leukaemia	Clin Transl Immunology. 2021 May 6;10(5):e1282. doi: 10.1002/cti2.1282. eCollection 2021.	Journal Article
78	Uchida M, Kashima Y, Mochizuki K, et al.	救急科	Multisystem Inflammatory Syndrome in Children - A New Syndrome Complicated With Acute Heart Failure Following Severe Acute Respiratory Syndrome Coronavirus 2 (SARS-CoV-2) Infection	Circ J. 2021 May 25;85(6):948-952. doi: 10.1253/circj.CJ-21- 0243. Epub 2021 May 13.	Case Reports
79	Joshita S, Yamashita Y, Okamoto T, et al.	内科学第二	Quantitative and qualitative lipid improvement with chronic hepatitis C virus eradication using direct-acting antivirals	Hepato Res. 2021 Jul;51(7):758-766. doi: 10.1111/hepr.13666. Epub 2021 May 26.	Journal Article
80	Tsukada K, Usami SI	耳鼻咽喉科頭頸部外科	Vestibular Preservation After Cochlear Implantation Using the Round Window Approach	Front Neurol. 2021 Apr 27;12:656592. doi: 10.3389/fneur.2021.65659 2. eCollection 2021.	Journal Article
81	Nomura S, Shimajima Y, Yoshizawa E, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原 病内科	Mesenteric panniculitis in systemic lupus erythematosus showing characteristic computed tomography findings	Lupus. 2021 Jul;30(8):1358-1359. doi: 10.1177/09612033211020 363. Epub 2021 May 26.	Case Reports

82	Fujimori K, Okada A, Tabata H, et al.	循環器内科	Percutaneous Removal of a Displaced Inferior Vena Cava Filter Using a Loop-Wire Technique and Lead-Extraction Sheaths	Circ J. 2021 Jul 21;85(8):1403. doi: 10.1253/circj.CJ-21-0164. Epub 2021 May 26.	Journal Article
83	Suzuki T, Minagawa T, Saito T, et al.	泌尿器科	Effect of oxybutynin patch versus mirabegron on nocturia-related quality of life in female overactive bladder patients: A multicenter randomized trial	Int J Urol. 2021 Sep;28(9):944-949. doi: 10.1111/iju.14608. Epub 2021 May 29.	Journal Article
84	Kamijo T, Kaido T, Yoda M, et al.	臨床検査部	Recombinant γ Y278H Fibrinogen Showed Normal Secretion from CHO Cells, but a Corresponding Heterozygous Patient Showed Hypofibrinogenemia	Int J Mol Sci. 2021 May 14;22(10):5218. doi: 10.3390/ijms22105218.	Journal Article
85	Nakano M, Nakamura Y, Miyazaki A, et al.	整形外科	Zinc Pharmacotherapy for Elderly Osteoporotic Patients with Zinc Deficiency in a Clinical Setting	Nutrients. 2021 May 27;13(6):1814. doi: 10.3390/nu13061814.	Journal Article
86	Midorikawa H, Kiniwa Y, Minagawa A, et al.	皮膚科	Case of annular pustular psoriasis/circinate erythematous psoriasis induced by hydroxychloroquine in a patient with systemic lupus erythematosus: Possible association with CARD-14 mutation	J Dermatol. 2021 Sep;48(9):e440-e442. doi: 10.1111/1346-8138.15976. Epub 2021 Jun 2.	Letter
87	Matsuoka D, Hirabayashi K, Murase T, et al.	小児科	Impact of acute kidney injury on overall survival in children and young adults undergoing allogeneic hematopoietic stem cell transplantation	Pediatr Blood Cancer. 2021 Sep;68(9):e29167. doi: 10.1002/pbc.29167. Epub 2021 Jun 4.	Journal Article

88	Kitazawa M, Miyagawa Y, Koyama M, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	Drug sensitivity profile of minor KRAS mutations in colorectal cancer using mix culture assay: The effect of AMG-510, a novel KRAS G12C selective inhibitor, on colon cancer cells is markedly enhanced by the combined inhibition of MEK and BCL-XL	Mol Clin Oncol. 2021 Jul;15(1):148. doi: 10.3892/mco.2021.2310. Epub 2021 May 28.	Journal Article
89	Watanabe T, Oba T, Tanimoto K, et al.	乳腺・内分泌外科	Tamoxifen resistance alters sensitivity to 5-fluorouracil in a subset of estrogen receptor-positive breast cancer	PLoS One. 2021 Jun 8;16(6):e0252822. doi: 10.1371/journal.pone.0252822. eCollection 2021.	Journal Article
90	Nishizawa H, Nakamura A	保健学科	Changes in motor function in Duchenne muscular dystrophy patients after travel restrictions due to COVID-19	Muscle Nerve. 2021 Sep;64(3):357-361. doi: 10.1002/mus.27348. Epub 2021 Jun 22.	Journal Article
91	Shimizu T, Oba T, Chino T, et al.	乳腺・内分泌外科	Papillary thyroid microcarcinoma with lung metastases: a case report and review of the literature	Thyroid Res. 2021 Jun 11;14(1):15. doi: 10.1186/s13044-021-00106-0.	Journal Article
92	Yoda M, Kaido T, Kamijo T, et al.	保健学科	Novel variant fibrinogen γ p.C352R produced hypodysfibrinogenemia leading to a bleeding episode and failure of infertility treatment	Int J Hematol. 2021 Sep;114(3):325-333. doi: 10.1007/s12185-021-03174-y. Epub 2021 Jun 12.	Journal Article
93	Miura K, Shimizu K, Eguchi T, et al.	呼吸器外科	Usefulness of SS18-SSX antibody as a diagnostic marker for pulmonary metastatic synovial sarcoma	Diagn Pathol. 2021 Jun 14;16(1):54. doi: 10.1186/s13000-021-01110-6.	Case Reports
94	Ogawa Y, Harada M, Hashimoto K, et al.	腎臓内科	Prevalence of latent tuberculosis infection and its risk factors in Japanese hemodialysis patients	Clin Exp Nephrol. 2021 Nov;25(11):1255-1265. doi: 10.1007/s10157-021-02093-w. Epub 2021 Jun 15.	Journal Article

95	Oyake K, Baba Y, Suda Y, et al.	保健学科	Cardiorespiratory responses to exercise related to post-stroke fatigue severity	Sci Rep. 2021 Jun 17;11(1):12780. doi: 10.1038/s41598-021-92127-w.	Journal Article
96	Iwaasa T, Tensho K, Koyama S, et al.	整形外科	Clinical outcome of a new remnant augmentation technique with anatomical double-bundle anterior cruciate ligament reconstruction: Comparison among remnant preservation, resection, and absent groups	Asia Pac J Sports Med Arthrosc Rehabil Technol. 2021 May 26;25:22-29. doi: 10.1016/j.asmart.2021.05.006. eCollection 2021 Jul.	Journal Article
97	Kakahara S, Hirano T, Imai A, et al.	眼科	Comments on pupillometry: An objective test to assess endocular hereditary transthyretin amyloidosis	Eur J Ophthalmol. 2022 Jan;32(1):NP332-NP333. doi: 10.1177/11206721211028047. Epub 2021 Jun 25.	Letter
98	Kitaguchi Y, Fujimoto K, Droma Y, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー内科	Automated Diseased Lung Volume Percentage Calculation in Quantitative CT Evaluation of Chronic Obstructive Pulmonary Disease and Idiopathic Pulmonary Fibrosis	J Comput Assist Tomogr. 2021 Jul-Aug 01;45(4):649-658. doi: 10.1097/RCT.0000000000001182.	Journal Article
99	Kobayashi T, Kanda S, Fukushima T, et al.	血液・腫瘍内科学	Response to lorlatinib on a patient with ALK-rearranged non-small cell lung cancer harboring 1151Tins mutation with uterine metastasis	Thorac Cancer. 2021 Aug;12(16):2275-2278. doi: 10.1111/1759-7714.14056. Epub 2021 Jun 28.	Case Reports
100	Hamanaka K, Shimizu K	呼吸器外科	[Procedures of Video-assisted Thoracoscopic Surgery for Patients with Intrathoracic Pleural Adhesions]	Kyobu Geka. 2021 Jul;74(7):497-501.	Journal Article
101	Eguchi T, Sato T, Shimizu K	呼吸器外科	Technical Advances in Segmentectomy for Lung Cancer: A Minimally Invasive Strategy for Deep, Small, and Impalpable Tumors	Cancers (Basel). 2021 Jun 23;13(13):3137. doi: 10.3390/cancers13133137	Review

102	Taniguchi S	血液・腫瘍内科学	In Situ Delivery and Production System (iDPS) of Anti-Cancer Molecules with Gene-Engineered Bifidobacterium	J Pers Med. 2021 Jun 17;11(6):566. doi: 10.3390/jpm11060566.	Review
103	Aomura D, Harada M, Yamada Y, et al.	腎臓内科	Pemafibrate Protects against Fatty Acid-Induced Nephropathy by Maintaining Renal Fatty Acid Metabolism	Metabolites. 2021 Jun 9;11(6):372. doi: 10.3390/metabo11060372	Journal Article
104	Umemura T, Joshita S, Saito H, et al.	内科学第二	Investigation of the Effect of KIR-HLA Pairs on Hepatocellular Carcinoma in Hepatitis C Virus Cirrhotic Patients	Cancers (Basel). 2021 Jun 29;13(13):3267. doi: 10.3390/cancers13133267	Journal Article
105	Yamashita Y, Joshita S, Sugiura A, et al.	内科学第二	aMAP score prediction of hepatocellular carcinoma occurrence and incidence-free rate after a sustained virologic response in chronic hepatitis C	Hepatol Res. 2021 Sep;51(9):933-942. doi: 10.1111/hepr.13689. Epub 2021 Jul 12.	Journal Article
106	Oba T, Maeno K, Amitani M, et al.	乳腺・内分泌外科	Prognostic significance of neutrophil-to-lymphocyte ratio for long-term outcomes in patients with poorly differentiated thyroid cancer	Endocr J. 2021 Nov 29;68(11):1329-1336. doi: 10.1507/endocrj.EJ21-0237. Epub 2021 Jul 2.	Journal Article
107	Inojie MO, Suzuki Y, Tamada H, et al.	脳神経外科	Rare sphenoid ridge intracranial mature teratoma in an adult female	Nagoya J Med Sci. 2021 May;83(2):379-386. doi: 10.18999/nagjms.83.2.379	Case Reports
108	Ichikawa T, Shimojima Y, Kishida D, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原病内科	The implication of interferon- γ -producing immunocompetent cells for evaluating disease activity and severity in adult-onset Still's disease	Int J Rheum Dis. 2021 Sep;24(9):1176-1185. doi: 10.1111/1756-185X.14171. Epub 2021 Jul 9.	Journal Article
109	Ono M, Oba T, Shibata T, et al.	乳腺・内分泌外科	The mechanisms involved in the resistance of estrogen receptor-positive breast cancer cells to palbociclib are multiple and change over time	J Cancer Res Clin Oncol. 2021 Nov;147(11):3211-3224. doi: 10.1007/s00432-021-03722-3. Epub 2021 Jul 9.	Journal Article

110	Kinugawa Y, Uehara T, Iwaya M, et al.	臨床検査部	IL-6 expression helps distinguish Castleman's disease from IgG4-related disease in the lung	BMC Pulm Med. 2021 Jul 10;21(1):219. doi: 10.1186/s12890-021-01603-6.	Journal Article
111	Hirabayashi M, Ozawa M, Kako S, et al.	消化器内科	[Pancreatic adenocarcinoma:a case containing a cyst enclosing a dilated tubular gland duct]	Nihon Shokakibyō Gakkai Zasshi. 2021;118(7):679-685. doi: 10.11405/nisshoshi.118.679.	Case Reports
112	Ide S, Arai N, Morimitsu N, et al.	麻酔科蘇生科	Another route of CO(2) gas excretion independent of red blood cells in human lungs	Pflugers Arch. 2021 Oct;473(10):1657-1666. doi: 10.1007/s00424-021-02586-3. Epub 2021 Jul 12.	Journal Article
113	Notake T, Shimizu A, Kubota K, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	Hepatocellular uptake index obtained with gadoxetate disodium-enhanced magnetic resonance imaging in the assessment future liver remnant function after major hepatectomy for biliary malignancy	BJs Open. 2021 Jul 6;5(4):zraa048. doi: 10.1093/bjsopen/zraa048.	Journal Article
114	Arai S, Kamiyo T, Kaido T, et al.	保健学科	Automated screening procedure for the phenotypes of congenital fibrinogen disorders using novel parameters, min1 c and Ac/ min1 c, obtained from clot waveform analysis using the Clauss method	Clin Chim Acta. 2021 Oct;521:170-176. doi: 10.1016/j.cca.2021.07.012. Epub 2021 Jul 15.	Journal Article
115	Minatogawa M, Tsukahara Y, Yuzuriha S, et al.	遺伝子医療研究センター	Detailed clinical and radiological features of the first patient with Elshah-Waters syndrome in East Asia	Am J Med Genet A. 2021 Dec;185(12):3909-3915. doi: 10.1002/ajmg.a.62423. Epub 2021 Jul 19.	Case Reports
116	Tokumar S, Koizumi T, Sekino Y, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	Lymphocyte-to-Monocyte Ratio Is a Predictive Biomarker of Response to Treatment with Nivolumab for Gastric Cancer	Oncology. 2021;99(10):632-640. doi: 10.1159/000517344. Epub 2021 Jul 19.	Journal Article

117	Hashimoto K, Kamijo Y, Harada M, et al.	腎臓内科	Impact of a change in vascular access flow volume after percutaneous transluminal angioplasty on cardiac function	Sci Prog. 2021 Jul- Sep;104(3):368504211031 097. doi: 10.1177/00368504211031 097.	Journal Article
118	Tanaka R, Tanaka S, Hayashi K, et al.	麻酔科蘇生科	The histamine H(1) receptor antagonist hydroxyzine enhances sevoflurane and propofol anesthesia: A quantitative EEG study	Clin Neurophysiol. 2021 Sep;132(9):2054-2061. doi: 10.1016/j.clinph.2021.05. 024. Epub 2021 Jun 24.	Journal Article
119	Hanaoka Y, Koyama JI, Ogiwara T, et al.	脳神経外科	Letter: Lessons Learned After 760 Neurointerventions via the Upper Extremity Vasculature: Pearls and Pitfalls	Neurosurgery. 2021 Sep 15;89(4):E259-E260. doi: 10.1093/neuros/nyab271.	Letter
120	Kobayashi H, Ichimura H, Ohashi N, et al.	循環器内科	Transplantation of Pluripotent Stem Cell-Derived Cardiomyocytes into a Myocardial Infarction Model of Cynomolgus Monkey	Methods Mol Biol. 2021;2320:295-302. doi: 10.1007/978-1-0716- 1484-6_25.	Journal Article
121	Shimajima Y, Ichikawa T, Kishida D, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原 病内科	Circulating regulatory T cells in adult-onset Still's disease: Focusing on their plasticity and stability	Clin Exp Immunol. 2021 Nov;206(2):184-195. doi: 10.1111/cei.13648. Epub 2021 Aug 12.	Journal Article
122	Sugiyama Y, Numata K, Watanabe N, et al.	麻酔科蘇生科	Catheter-induced anaphylaxis and determination of the causative catheter in a patient undergoing neuroendovascular surgery: a case report	JA Clin Rep. 2021 Jul 31;7(1):59. doi: 10.1186/s40981-021- 00463-7.	Journal Article
123	Kaido T, Yoda M, Kamijo T, et al.	臨床検査部	A novel variant fibrinogen, A α E11del, demonstrating the importance of A α E11 residue in thrombin binding	Int J Hematol. 2021 Nov;114(5):591-598. doi: 10.1007/s12185-021- 03200-z. Epub 2021 Jul 31.	Journal Article

124	Maruyama T, Hayashi N, Sato Y, et al.	放射線科	Simultaneous brain structure segmentation in magnetic resonance images using deep convolutional neural networks	Radiol Phys Technol. 2021 Dec;14(4):358-365. doi: 10.1007/s12194-021-00633-3. Epub 2021 Aug 2.	Journal Article
125	Yamamoto Y, Miyagawa Y, Kitazawa M, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	Sex differences in non-strangulated postoperative adhesive small bowel obstruction: a retrospective cohort study	ANZ J Surg. 2021 Oct;91(10):2074-2080. doi: 10.1111/ans.17103. Epub 2021 Aug 2.	Journal Article
126	Hanaoka Y, Koyama JI, Ogiwara T, et al.	脳神経外科	Letter to the Editor Regarding "Distal Access Catheters for Coaxial Radial Access for Posterior Circulation Interventions"	World Neurosurg. 2021 Aug;152:237. doi: 10.1016/j.wneu.2021.04.107.	Letter
127	Yamazaki T, Joshita S, Ichijo T, et al.	内科学第二	Successful treatment by glecaprevir/pibrentasvir followed by hepatoprotective therapy of acute chronic hepatitis exacerbation caused by daratumumab-based regimen for multiple myeloma: Case report and review of the literature	J Infect Chemother. 2021 Dec;27(12):1750-1755. doi: 10.1016/j.jiac.2021.07.018. Epub 2021 Jul 31.	Case Reports
128	Hanaoka Y, Koyama JI, Yamazaki D, et al.	脳神経外科	The need for further study of microcatheter behavior through the trans-cell approach using a Neuroform Atlas stent	J Neuroradiol. 2021 Sep;48(5):406-407. doi: 10.1016/j.neurad.2021.07.005. Epub 2021 Aug 4.	Letter
129	Kamijo K, Miyamoto T, Ando H, et al.	産科婦人科	Clinical characteristics of a novel "Type 3" vasa previa: case series at a single center	J Matern Fetal Neonatal Med. 2021 Aug 9:1-7. doi: 10.1080/14767058.2021.1960975. Online ahead of print.	Journal Article
130	Kuraishi Y, Uehara T, Muraki T, et al.	消化器内科	Impact of DNA double-strand breaks on pancreaticobiliary maljunction carcinogenesis	Diagn Pathol. 2021 Aug 9;16(1):72. doi: 10.1186/s13000-021-01132-0.	Journal Article

131	Nakano M, Nakamura Y, Urano T, et al.	整形外科	Associations of Homocysteine Metabolism With the Risk of Spinal Osteoarthritis Progression in Postmenopausal Women	J Clin Endocrinol Metab. 2021 Nov 19;106(12):3428-3438. doi: 10.1210/clinem/dgab591.	Journal Article
132	Araki T, Yamazaki Y, Goto N, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー内科	Prognostic value of geriatric nutritional risk index for aspiration pneumonia: a retrospective observational cohort study	Aging Clin Exp Res. 2022 Mar;34(3):563-571. doi: 10.1007/s40520-021-01948-2. Epub 2021 Aug 11.	Journal Article
133	Fujii Y, Hanaoka Y, Ogiwara T, et al.	脳神経外科	Pediatric Case of Life-Threatening Stroke Caused by Reversible Cerebral Vasoconstriction Syndrome with Spontaneous Cervical Internal Carotid Artery Vasospasm: A Case Report	J Stroke Cerebrovasc Dis. 2021 Oct;30(10):106036. doi: 10.1016/j.jstrokecerebrovasdis.2021.106036. Epub 2021 Aug 12.	Case Reports
134	Kako S, Iwaya Y, Nagaya T, et al.	内科学第二	Clinicopathological features of nodular gastritis in three classes of age	Helicobacter. 2021 Dec;26(6):e12845. doi: 10.1111/hel.12845. Epub 2021 Aug 16.	Journal Article
135	Sato M, Mutai H, Yamamoto S, et al.	保健学科	Decreased activities of daily living at discharge predict mortality and readmission in elderly patients after cardiac and aortic surgery: A retrospective cohort study	Medicine (Baltimore). 2021 Aug 6;100(31):e26819. doi: 10.1097/MD.00000000000026819.	Journal Article
136	Imamura H, Kashima Y, Hattori M, et al.	救急科	Unexplained recurrent shock in peripheral T-cell lymphoma: A case report	Clin Case Rep. 2021 Aug 10;9(8):e04612. doi: 10.1002/ccr3.4612. eCollection 2021 Aug.	Case Reports
137	Tsukada K, Usami SI	耳鼻咽喉科頭頸部外科	Vestibular nerve deficiency and vestibular function in children with unilateral hearing loss caused by cochlear nerve deficiency	Acta Otolaryngol. 2021 Sep;141(9):835-840. doi: 10.1080/00016489.2021.1959637. Epub 2021 Aug 18.	Journal Article
138	Kawamoto M, Tanaka H, Sakurai A, et al.	特殊菌科・口腔外科	Exploration of correlation of oral hygiene and condition with influenza infection	PLoS One. 2021 Aug 18;16(8):e0254981. doi: 10.1371/journal.pone.0254981. eCollection 2021.	Journal Article

139	Kanaya K, Mitsuhashi T, Kiuchi T, et al.	脳神経外科	The Efficacy of Intraoperative Passive Language Mapping for Glioma Surgery: A Case Report	Front Neurol. 2021 Aug 2;12:652401. doi: 10.3389/fneur.2021.652401. eCollection 2021.	Case Reports
140	Goto N, Wada Y, Ikuyama Y, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー内科	The usefulness of a combination of age, body mass index, and blood urea nitrogen as prognostic factors in predicting oxygen requirements in patients with coronavirus disease 2019	J Infect Chemother. 2021 Dec;27(12):1706-1712. doi: 10.1016/j.jiac.2021.08.009. Epub 2021 Aug 13.	Journal Article
141	Yoshie K, Okada A, Shoda M, et al.	循環器内科	Unique Atrial Tachycardia From the Right Inferior Pulmonary Vein Mimicking Multiple Focal Patterns in the Bilateral Atria and Aorta	Circ Rep. 2021 Jul 3;3(8):472-473. doi: 10.1253/circrep.CR-21-0072. eCollection 2021 Aug 10.	Journal Article
142	Yoshimura H, Takahashi M, Iwasaki S, et al.	耳鼻咽喉科頭頸部外科	Vibrant soundbridge implantation prior to auricular reconstruction with unilateral microtia-atresia	Clin Case Rep. 2021 Aug 16;9(8):e04408. doi: 10.1002/ccr3.4408. eCollection 2021 Aug.	Case Reports
143	Hoshino Y, Kodaira M, Matsuno A, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原病内科	Reversible Leukoencephalopathy in a Man with Childhood-onset Hyperornithinemia-Hyperammonemia-Homocitrullinuria Syndrome	Intern Med. 2022 Feb 15;61(4):553-557. doi: 10.2169/internalmedicine.7843-21. Epub 2021 Aug 24.	Case Reports
144	Nakamura K, Sekijima Y	遺伝子医療研究センター	[Genetic counseling and predictive testing for hereditary neuromuscular diseases]	Rinsho Shinkeigaku. 2021 Sep 28;61(9):588-593. doi: 10.5692/clinicalneuro.001608. Epub 2021 Aug 26.	Journal Article
145	Kobayashi H, Joshita S, Akahane Y, et al.	内科学第二	Protocol: Prospective observational study aiming for micro-elimination of hepatitis C virus in Nagawa town: The Nagawa Project	PLoS One. 2021 Aug 26;16(8):e0256711. doi: 10.1371/journal.pone.0256711. eCollection 2021.	Journal Article

146	Yamazaki D, Hanaoka Y, Koyama JI, et al.	脳神経外科	Transradial dual-balloon protection system for subclavian artery stenting: "Balloon Switching" technique and literature review	Eur J Radiol. 2021 Oct;143:109907. doi: 10.1016/j.ejrad.2021.109907. Epub 2021 Aug 19.	Case Reports
147	Hineno A, Ikeda SI	難病診療センター	A Long-Term Observation on the Possible Adverse Effects in Japanese Adolescent Girls after Human Papillomavirus Vaccination	Vaccines (Basel). 2021 Aug 4;9(8):856. doi: 10.3390/vaccines9080856	Journal Article
148	Yoshimura H, Nishio SY, Isaka Y, et al.	耳鼻咽喉科頭頸部外科	A nationwide epidemiologic, clinical, genetic study of Usher syndrome in Japan	Acta Otolaryngol. 2021 Sep;141(9):841-846. doi: 10.1080/00016489.2021.1966500. Epub 2021 Aug 27.	Journal Article
149	Meling MT, Kiniwa Y, Ogawa E, et al.	皮膚科	Increased expression of secreted protein acidic and rich in cysteine and tissue inhibitor of metalloproteinase-3 in epidermotropic melanoma metastasis	J Dermatol. 2021 Nov;48(11):1772-1779. doi: 10.1111/1346-8138.16125. Epub 2021 Aug 29.	Journal Article
150	Komatsu M, Yamamoto H, Matsui S, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー内科	Clinical characteristics of immunoglobulin G(4)-positive interstitial pneumonia	ERJ Open Res. 2021 Aug 31;7(3):00317-2021. doi: 10.1183/23120541.00317-2021. eCollection 2021 Jul.	Journal Article
151	Kakahara S, Hirano T, Kitahara J, et al.	眼科	OCULAR ANGIOGRAPHIC FEATURES IN JAPANESE PATIENTS WITH VAL30MET HEREDITARY TRANSTHYRETIN AMYLOIDOSIS	Retina. 2022 Jan 1;42(1):210-215. doi: 10.1097/IAE.00000000000003291.	Journal Article
152	Uehara M, Nakamura Y, Nakano M, et al.	整形外科	Efficacy of romosozumab for osteoporosis in a patient with osteogenesis imperfecta: A case report	Mod Rheumatol Case Rep. 2022 Jan 7;6(1):128-133. doi: 10.1093/mrcr/rxab018.	Case Reports
153	Matsuoka S, Eguchi T, Koyama T, et al.	呼吸器外科	Three-dimensional computed tomography-guided excision of an intrathoracic giant thymoma with elongated thymic vessels	Multimed Man Cardiothorac Surg. 2021 Aug 19;2021. doi: 10.1510/mmcts.2021.039.	Case Reports

154	Oyake K, Baba Y, Suda Y, et al.	保健学科	A Single Bout of Constant-Load Exercise Test for Estimating the Time Constant of Oxygen Uptake Kinetics in Individuals With Stroke	Ann Rehabil Med. 2021 Aug;45(4):304-313. doi: 10.5535/arm.21087. Epub 2021 Aug 30.	Journal Article
155	Ohya A, Matoba H, Fujinaga Y, et al.	放射線科	Decreased Gastric Gland Mucin-specific O-glycans Are Involved in the Progression of Ovarian Primary Mucinous Tumours	Acta Histochem Cytochem. 2021 Aug 25;54(4):115-122. doi: 10.1267/ahc.21-00032. Epub 2021 Jul 7.	Journal Article
156	Hosoda K, Fukushima K, Shimizu A, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	Survival Outcomes of Gemcitabine Plus S-1 Adjuvant Chemotherapy after Surgical Resection for Advanced Biliary Tract Cancer	Oncology. 2021;99(11):703-712. doi: 10.1159/000518094. Epub 2021 Aug 25.	Journal Article
157	Hardian RF, Ogiwara T, Sato A, et al.	脳神経外科	Comparison Between Conventional Flash and Off-Response Intraoperative Visual Evoked Potential Monitoring for Endoscopic Endonasal Surgery	Oper Neurosurg (Hagerstown). 2021 Nov 15;21(6):516-522. doi: 10.1093/ons/opab329.	Journal Article
158	Yamada A, Yoshizawa E	放射線科	Quantitative assessment of liver steatosis using ultrasound: dual-energy CT	J Med Ultrason (2001). 2021 Oct;48(4):507-514. doi: 10.1007/s10396-021-01136-9. Epub 2021 Sep 18.	Review
159	Hineno A, Oyanagi K, Yoshida T, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原病内科	Spread of vimentin-immunoreactive cells within the plaque-like lesion in the spinal anterior horn of a patient with post-poliomyelitis syndrome	Neuropathology. 2021 Oct;41(5):406-411. doi: 10.1111/neup.12768. Epub 2021 Sep 19.	Case Reports
160	Nakamura K, Kosano M, Sakai Y, et al.	皮膚科	Case of bullous pemphigoid following coronavirus disease 2019 vaccination	J Dermatol. 2021 Dec;48(12):e606-e607. doi: 10.1111/1346-8138.16170. Epub 2021 Sep 21.	Case Reports

161	Ndukuba K, Ogiwara T, Nakamura T, et al.	脳神経外科	Surgical strategy for symptomatic pineal cyst: is endoscopic third ventriculostomy necessary in addition to cyst fenestration?	Nagoya J Med Sci. 2021 Aug;83(3):627-633. doi: 10.18999/nagjms.83.3.627	Case Reports
162	Miyaoka Y, Uehara M, Oba H, et al.	整形外科	Pseudohypoxic brain swelling and secondary hydrocephalus with pseudomeningocele after lumbar surgery: a case report	Br J Neurosurg. 2021 Sep 23;1-6. doi: 10.1080/02688697.2021.1958157. Online ahead of print.	Journal Article
163	Minatogawa M, Miyake N, Tsukahara Y, et al.	遺伝子医療研究センター	Expanding the phenotypic spectrum of cardiospondylocarpofacial syndrome: From a detailed clinical and radiological observation of a boy with a novel missense variant in MAP3K7	Am J Med Genet A. 2022 Jan;188(1):350-356. doi: 10.1002/ajmg.a.62516. Epub 2021 Sep 24.	Case Reports
164	Uehara M, Ikegami S, Horiuchi H, et al.	整形外科	Prevalence and Related Factors of Low Back Pain in the General Elderly Population: A Japanese Cross-Sectional Study Randomly Sampled from a Basic Resident Registry	J Clin Med. 2021 Sep 17;10(18):4213. doi: 10.3390/jcm10184213.	Journal Article
165	Mutai H, Sato M, Kitahara T, et al.	保健学科	Effects of occupational therapy on improvements in the handwriting ability of the adult non-dominant hand: An exploratory randomised controlled trial	Aust Occup Ther J. 2022 Feb;69(1):15-24. doi: 10.1111/1440-1630.12764. Epub 2021 Sep 27.	Journal Article
166	Shimizu Y, Kanda S, Fukushima T, et al.	血液・腫瘍内科学	Increased carbohydrate antigen 19-9 expression in a thymic neuroendocrine tumor	Thorac Cancer. 2021 Nov;12(21):2949-2952. doi: 10.1111/1759-7714.14153. Epub 2021 Sep 27.	Case Reports

167	Asaka S, Nakajima T, Ida K, et al.	臨床検査部	Clinicopathological and prognostic significance of immunophenotypic characterization of endocervical adenocarcinoma using CLDN18, CDH17, and PAX8 in association with HPV status	Virchows Arch. 2022 Feb;480(2):269-280. doi: 10.1007/s00428-021-03207-1. Epub 2021 Sep 28.	Journal Article
168	Shimizu T, Hondo N, Miyagawa Y, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	A case of appendiceal ganglioneuroma in neurofibromatosis type 1	Surg Case Rep. 2021 Sep 28;7(1):218. doi: 10.1186/s40792-021-01299-0.	Journal Article
169	Sonehara K, Araki T, Hanaoka M	呼吸器・感染症・アレルギー内科	Rothia aeria pneumonia in an immunocompetent patient: A novel case study	Respirol Case Rep. 2021 Sep 21;9(10):e0843. doi: 10.1002/rcr2.843. eCollection 2021 Oct.	Case Reports
170	Hayashi W, Izumi K, Yoshida S, et al.	保健学科	Antimicrobial Resistance and Type III Secretion System Virulotypes of Pseudomonas aeruginosa Isolates from Dogs and Cats in Primary Veterinary Hospitals in Japan: Identification of the International High-Risk Clone Sequence Type 235	Microbiol Spectr. 2021 Oct 31;9(2):e0040821. doi: 10.1128/Spectrum.00408-21. Epub 2021 Sep 29.	Journal Article
171	Aomura D, Yamada Y, Harada M, et al.	腎臓内科	Hospital Admission to a Window-Side Bed Does Not Prevent Delirium: A Retrospective Cohort Study of Older Medical Inpatients in General Wards	Front Med (Lausanne). 2021 Sep 14;8:744581. doi: 10.3389/fmed.2021.744581. eCollection 2021.	Journal Article
172	Araki T, Kitaguchi Y, Suzuki Y, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー内科	Prognostic implication of erector spinae muscles in non-small-cell lung cancer patients treated with immunotherapy combinatorial chemotherapy	Thorac Cancer. 2021 Nov;12(21):2857-2864. doi: 10.1111/1759-7714.14142. Epub 2021 Oct 2.	Journal Article

173	Chiku Y, Hirano T, Takahashi Y, et al.	眼科	Evaluating posterior vitreous detachment by widefield 23-mm swept-source optical coherence tomography imaging in healthy subjects	Sci Rep. 2021 Oct 5;11(1):19754. doi: 10.1038/s41598-021-99372-z.	Journal Article
174	Suzuki Y, Ogiwara T, Kitamura S, et al.	脳神経外科	Endoscopic diving technique for surgery of brain abscess	Br J Neurosurg. 2021 Oct 7:1-4. doi: 10.1080/02688697.2021.1988053. Online ahead of	Journal Article
175	Nakano M, Yui H, Kikugawa S, et al.	整形外科	Associations of LRP5 and MTHFR Gene Variants with Osteoarthritis Prevalence in Elderly Women: A Japanese Cohort Survey Randomly Sampled from a Basic Resident Registry	Ther Clin Risk Manag. 2021 Sep 29;17:1065-1073. doi: 10.2147/TCRM.S330530. eCollection 2021.	Journal Article
176	Kubota K, Shimizu A, Soejima Y	消化器・移植・小児外科学分野	ASO Author Reflections: Lymphocyte-to-monocyte ratio as prognostic biomarker in pancreatic ductal adenocarcinoma	Ann Surg Oncol. 2022 Feb;29(2):1449-1450. doi: 10.1245/s10434-021-10879-1. Epub 2021 Oct 7.	Journal Article
177	Tsuchiya T, Iwaya Y, Iwaya M, et al.	消化器内科	A Case of Multiple Perineuriomas in the Colon With Underlying Neurofibromatosis Type 1	ACG Case Rep J. 2021 Oct 4;8(9):e00665. doi: 10.14309/crj.0000000000000665. eCollection 2021 Sep.	Case Reports
178	Shibata Y, Yamazaki M, Kitahara J, et al.	糖尿病・内分泌代謝内科	Changes in serum uric acid levels as a predictor of future decline in renal function in older adults with type 2 diabetes	Medicine (Baltimore). 2021 Oct 8;100(40):e27420. doi: 10.1097/MD.00000000000027420.	Journal Article
179	Hanaoka Y, Koyama JI, Yamazaki D, et al.	脳神経外科	Transradial quadradial system for coil embolization of distal anterior cerebral artery aneurysms: A radial-first center case series and literature review	J Neuroradiol. 2022 Mar;49(2):169-172. doi: 10.1016/j.neurad.2021.09.002. Epub 2021 Oct 9.	Review

180	Iwakawa H, Uchiyama S, Fujinaga Y, et al.	整形外科	Magnetic resonance imaging of diffusion characteristics following collagenase clostridium histolyticum injection in Dupuytren's contracture	J Orthop Surg (Hong Kong). 2021 Sep-Dec;29(3):23094990211047281. doi: 10.1177/23094990211047281.	Journal Article
181	Yui J, Okano S, Nishizawa H	保健学科	Relationship between skeletal muscle mass and blood lactate level reduction after short squat jumps in healthy adult non-athletes	J Phys Ther Sci. 2021 Oct;33(10):717-721. doi: 10.1589/jpts.33.717. Epub 2021 Oct 13.	Journal Article
182	Kubota K, Shimizu A, Notake T, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	Preoperative Peripheral Blood Lymphocyte-to-Monocyte Ratio Predicts Long-Term Outcome for Patients with Pancreatic Ductal Adenocarcinoma	Ann Surg Oncol. 2022 Feb;29(2):1437-1448. doi: 10.1245/s10434-021-10848-8. Epub 2021 Oct 18.	Journal Article
183	Matsuo J, Yamaori S	薬剤部	Detecting drug-drug interactions that increase the incidence of long QT syndrome using a spontaneous reporting system	J Clin Pharm Ther. 2022 Jan;47(1):70-80. doi: 10.1111/jcpt.13539. Epub 2021 Oct 19.	Journal Article
184	Yoshizawa E, Yamada A	放射線科	MRI-derived proton density fat fraction	J Med Ultrason (2001). 2021 Oct;48(4):497-506. doi: 10.1007/s10396-021-	Review
185	Hiramatsu K, Nishio SY, Kitajiri SI, et al.	耳鼻咽喉科頭頸部外科	Prevalence and Clinical Characteristics of Hearing Loss Caused by MYH14 Variants	Genes (Basel). 2021 Oct 15;12(10):1623. doi: 10.3390/genes12101623.	Journal Article
186	Yoshimura H, Nishio SY, Usami SI	耳鼻咽喉科頭頸部外科	Milestones toward cochlear gene therapy for patients with hereditary hearing loss	Laryngoscope Investig Otolaryngol. 2021 Aug 10;6(5):958-967. doi: 10.1002/lio2.633. eCollection 2021 Oct.	Review
187	Kobayashi R, Shimizu A, Kubota K, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	Maffucci Syndrome with Intrahepatic Cholangiocarcinoma: A Case Report	Case Rep Oncol. 2021 Sep 20;14(3):1347-1352. doi: 10.1159/000515779. eCollection 2021 Sep-Dec.	Case Reports

188	Tomida H, Nakagawa K, Matsumura H, et al.	外科	Perforated Duodenal Diverticulum With Postoperative Diverticulum Bleeding Successfully Treated Using Transcatheter Arterial Embolization	Cureus. 2021 Sep 23;13(9):e18219. doi: 10.7759/cureus.18219. eCollection 2021 Sep.	Case Reports
189	Maruyama Y, Shigemura T, Kobayashi N, et al.	小児科	Efficacy of tocilizumab for interstitial lung disease associated with polyarticular juvenile idiopathic arthritis	Pediatr Int. 2022 Jan;64(1):e14737. doi: 10.1111/ped.14737. Epub 2021 Nov 1.	Case Reports
190	Nomura S, Shimojima Y, Kondo Y, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原病内科	Hypertrophic pachymeningitis in polyarteritis nodosa: a case-based review	Clin Rheumatol. 2022 Feb;41(2):567-572. doi: 10.1007/s10067-021-05971-6. Epub 2021 Nov 2.	Case Reports
191	Joshita S, Ota M, Kobayashi H, et al.	内科学第二	Association analysis of KIR/HLA genotype with liver cirrhosis, hepatocellular carcinoma, and NUC freedom in chronic hepatitis B patients	Sci Rep. 2021 Nov 2;11(1):21424. doi: 10.1038/s41598-021-01014-x.	Journal Article
192	Kuroiwa M, Kitazawa M, Miyagawa Y, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	Mesh Migration into the Neobladder and Ileum with Complicated Fistula Formation following Incisional Hernia Repair	Case Rep Surg. 2021 Oct 25;2021:5683621. doi: 10.1155/2021/5683621. eCollection 2021.	Case Reports
193	Kakahara S, Kurenuma T, Murata T	眼科	Branch Retinal Artery Occlusion with Prepapillary Macroaneurysm Enlargement	Ophthalmol Retina. 2021 Nov;5(11):1124. doi: 10.1016/j.oret.2021.08.003.	Case Reports
194	Ota H, Ito M, Kobayashi C, et al.	保健学科	Superiority of sucrose-isomaltase to CD10 for immunohistochemical detection of intestinal absorptive cell phenotype in differentiated-type gastric adenocarcinoma	Int J Clin Exp Pathol. 2021 Oct 15;14(10):1031-1037. eCollection 2021.	Journal Article

195	Hayashi M, Kato H, Komatsu M, et al.	整形外科	Changes in the Functional Range of Motion of the Thumb Metacarpophalangeal Joint After Trapeziometacarpal Arthrodesis for Patients With Advanced Trapeziometacarpal Osteoarthritis	J Hand Surg Am. 2021 Nov 9;S0363-5023(21)00613-4. doi: 10.1016/j.jhsa.2021.09.018. Online ahead of print.	Journal Article
196	Shimizu K	呼吸器外科	Can Salvage Surgery Cause a Paradigm Shift in Lung Cancer Treatment?	Ann Thorac Surg. 2021 Nov 13;S0003-4975(21)01903-2. doi: 10.1016/j.athoracsur.2021.10.015. Online ahead of	Letter
197	Meling MT, Minagawa A, Miyake T, et al.	皮膚科	Certolizumab pegol treatment for leg ulcers due to rheumatoid vasculitis	JAAD Case Rep. 2021 Oct 13;18:12-14. doi: 10.1016/j.jdc.2021.10.004. eCollection 2021 Dec.	Case Reports
198	Okura E, Nishino Y, Sakashita K, et al.	小児科	Cancer among children, adolescents and young adults in the Hokushin region, Japan, between 2010 and 2015	Jpn J Clin Oncol. 2022 Jan 3;52(1):86-95. doi: 10.1093/jjco/hyab174.	Journal Article
199	Miura K, Shimizu K, Hasegawa S, et al.	呼吸器外科	Non-incisional pleurectomy/decortication for malignant mesothelioma after cardiac surgery	Thorac Cancer. 2022 Jan;13(1):126-128. doi: 10.1111/1759-7714.14231. Epub 2021 Nov 20.	Case Reports
200	Nozawa S, Urushihata K, Machida R, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー内科	Sleep architecture of short sleep time in patients with obstructive sleep apnea: a retrospective single-facility study	Sleep Breath. 2021 Nov 22. doi: 10.1007/s11325-021-02533-7. Online ahead of print.	Journal Article
201	Minatogawa M, Unzaki A, Morisaki H, et al.	遺伝子医療研究センター	Clinical and molecular features of 66 patients with musculocontractural Ehlers-Danlos syndrome caused by pathogenic variants in CHST14 (mcEDS-CHST14)	J Med Genet. 2021 Nov 23;jmedgenet-2020-107623. doi: 10.1136/jmedgenet-2020-107623. Online ahead of print.	Journal Article
202	Kasuga M, Yoshimura H, Shinagawa J, et al.	耳鼻咽喉科頭頸部外科	Frequency and natural course of congenital cytomegalovirus-associated hearing loss in children	Acta Otolaryngol. 2021 Dec;141(12):1038-1043. doi: 10.1080/00016489.2021.2000638. Epub 2021 Nov 26.	Journal Article

203	Miura K, Shimizu K, Ide S, et al.	呼吸器外科	A Novel Strategy for the Diagnosis of Pulmonary High-Grade Neuroendocrine Tumor	Diagnostics (Basel). 2021 Oct 20;11(11):1945. doi: 10.3390/diagnostics11111945.	Review
204	Uehara M, Nakamura Y, Suzuki T, et al.	整形外科	Efficacy and Safety of Oral Ibandronate versus Intravenous Zoledronic Acid on Bone Metabolism and Bone Mineral Density in Postmenopausal Japanese Women with Osteoporosis	J Clin Med. 2021 Nov 20;10(22):5420. doi: 10.3390/jcm10225420.	Journal Article
205	Morikawa H, Nobuoka M, Amitani M, et al.	乳腺・内分泌外科	Fibroadenoma in a young male breast: A case report and review of the literature	Clin Case Rep. 2021 Nov 19;9(11):e05114. doi: 10.1002/ccr3.5114. eCollection 2021 Nov.	Case Reports
206	Nakamura K, Ashida A, Kiniwa Y, et al.	皮膚科	Chemokine level predicts the therapeutic effect of anti-PD-1 antibody (nivolumab) therapy for malignant melanoma	Arch Dermatol Res. 2021 Nov 29. doi: 10.1007/s00403-021-02305-z. Online ahead of print.	Journal Article
207	Nishizawa H, Motobayashi M, Akahane M, et al.	保健学科	Neuropsychological and neurophysiological features of WAGR syndrome: Detailed comprehensive evaluation of a patient with severe intellectual disability and autism spectrum disorder	Brain Dev. 2022 Mar;44(3):229-233. doi: 10.1016/j.braindev.2021.11.006. Epub 2021 Dec 6.	Case Reports
208	Fukamatsu F, Yamada A, Hayashihara H, et al.	放射線科	Optimization of scan protocol for high temporal resolution magnetic resonance imaging of the liver under single breath-holding using compressed sensing and parallel imaging techniques in a 1.5-T magnetic resonance system	BJR Open. 2021 Nov 24;3(1):20210018. doi: 10.1259/bjro.20210018. eCollection 2021.	Journal Article

209	Imai J, Sasayama D, Kuge R, et al.	精神科	Hyperactive/impulsive symptoms and autistic trait in institutionalized children with maltreatment experience	New Dir Child Adolesc Dev. 2021 Sep;2021(179):29–39. doi: 10.1002/cad.20445. Epub 2021 Dec 9.	Journal Article
210	Ideta H, Yoshida K, Okamoto M, et al.	整形外科	Antitumor Effect of Sclerostin against Osteosarcoma	Cancers (Basel). 2021 Nov 29;13(23):6015. doi: 10.3390/cancers13236015	Journal Article
211	Motoki N, Motoki H, Utsumi M, et al.	小児科	Identification of metabolomic profile related to adult Fontan pathophysiology	Int J Cardiol Heart Vasc. 2021 Nov 24;37:100921. doi: 10.1016/j.ijcha.2021.100921. eCollection 2021 Dec.	Journal Article
212	Uehara M, Nakamura Y, Suzuki T, et al.	整形外科	Efficacy of denosumab therapy for a 12-year-old female patient with Williams syndrome with osteoporosis and history of fractures: a case report	J Med Case Rep. 2021 Dec 15;15(1):594. doi: 10.1186/s13256-021-03175-9.	Case Reports
213	Tanabe H, Mutai H, Sasayama D, et al.	精神科	Sex differences in serum levels of 5α -androstane- 3β , 17β -diol, and androstenediol in the young adults: A liquid chromatography-tandem mass spectrometry study	PLoS One. 2021 Dec 15;16(12):e0261440. doi: 10.1371/journal.pone.0261440. eCollection 2021.	Journal Article
214	Takahashi K, Yokotsuka-Ishida S, Nakamura T, et al.	精神科	Improved response to electroconvulsive therapy after switching from haloperidol to blonanserin in a patient with treatment-resistant schizophrenia	Psychiatry Clin Neurosci. 2022 Mar;76(3):91–93. doi: 10.1111/pcn.13321. Epub 2022 Jan 12.	Letter
215	Wakabayashi R	麻醉科蘇生科	Availability of ultrasound imaging of a guidewire parallel to the vein during internal jugular central venous catheter placement	Sci Rep. 2021 Dec 20;11(1):24280. doi: 10.1038/s41598-021-03718-6.	Journal Article
216	Uehara M, Ikegami S, Kuraishi S, et al.	整形外科	Pre-operative angle of trunk rotation in prone position estimates postoperative correction results	Medicine (Baltimore). 2021 Dec 23;100(51):e28445. doi: 10.1097/MD.00000000000028445.	Journal Article

217	Ikegami S, Uehara M, Tokida R, et al.	整形外科	Cervical Spinal Alignment Change Accompanying Spondylosis Exposes Harmonization Failure with Total Spinal Balance: A Japanese Cohort Survey Randomly Sampled from a Basic Resident Registry	J Clin Med. 2021 Dec 8;10(24):5737. doi: 10.3390/jcm10245737.	Journal Article
218	Sonehara K, Tateishi K, Araki T, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー内科	Pembrolizumab-Induced Adrenal Insufficiency in Patients with Untreated Advanced Non-Small Cell Lung Cancer: A Case Series	Case Rep Oncol. 2021 Nov 5;14(3):1561-1566. doi: 10.1159/000519597. eCollection 2021 Sep-Dec.	Case Reports
219	Akahane S, Hirano T, Shu S, et al.	眼科	Bilateral Adie's Pupil following Laser Treatment of the Ischemic Peripheral Retina for Uveitis: A Case Report	Case Rep Ophthalmol. 2021 Nov 11;12(3):909-914. doi: 10.1159/000519506. eCollection 2021 Sep-Dec.	Case Reports
220	Shimajima Y, Kishida D, Ichikawa T, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原病内科	Oxidative Stress Promotes Instability of Regulatory T Cells in Antineutrophil Cytoplasmic Antibody-Associated Vasculitis	Front Immunol. 2021 Dec 7;12:789740. doi: 10.3389/fimmu.2021.789740. eCollection 2021.	Journal Article
221	Aoyama T, Ogiwara T, Ito K, et al.	脳神経外科	Correlations Among Consistency, Computed Tomography Values, and Histopathological Subtypes of Spinal Meningioma	Acta Med Okayama. 2021 Dec;75(6):713-718. doi: 10.18926/AMO/62811.	Journal Article
222	Ikegami S, Uehara M, Miyaoka Y, et al.	整形外科	A Novel Technique for Cervical Microscopic Foraminotomy Utilizing Spinous Process Splitting: Microscopic Mini-Open Foraminotomy	Spine Surg Relat Res. 2021 Jun 30;5(6):431-436. doi: 10.22603/ssr.2021-0055. eCollection 2021.	Journal Article

223	Kameyama A, Imamura H, Kamijo H, et al.	救急科	Diagnostic Pitfalls in Papillary Muscle Rupture-Associated Acute Mitral Regurgitation after Acute Myocardial Infarction	Case Rep Crit Care. 2021 Dec 21;2021:1396194. doi: 10.1155/2021/1396194. eCollection 2021.	Case Reports
224	Sekijima Y	脳神経内科／リウマチ・膠原病内科	[What Can Be Learned by Studying Abroad]	Brain Nerve. 2022 Jan;74(1):29-32. doi: 10.11477/mf.1416201972.	Journal Article
225	Nishio SY, Usami SI	人工聴覚器学講座	Frequency of the STRC-CATSPER2 deletion in STRC-associated hearing loss patients	Sci Rep. 2022 Jan 12;12(1):634. doi: 10.1038/s41598-021-04688-5.	Journal Article
226	Yamazaki K, Hanaoka Y, Koyama JI, et al.	脳神経外科	Contralateral Transradial Access for Coil Embolization of Distal Anterior Cerebral Artery Aneurysm Associated With a Steep Ipsilateral A1-A2 Angle	J Stroke Cerebrovasc Dis. 2022 Mar;31(3):106299. doi: 10.1016/j.jstrokecerebrovasdis.2021.106299. Epub 2022 Jan 13.	Case Reports
227	Iwasa YI, Yokota Y, Kitoh R, et al.	耳鼻咽喉科頭頸部外科	Factors Affecting Nivolumab Therapy Outcome in Patients with Head and Neck Cancer: A Single-Center Analysis	Oncology. 2022;100(4):203-211. doi: 10.1159/000522035. Epub 2022 Jan 18.	Journal Article
228	Kitagawa T, Aoki Y, Sugimoto H, et al.	保健学科	Randomised controlled trial for evaluation of an ultrasound-guided palpation intervention for palpation skill training	Sci Rep. 2022 Jan 24;12(1):1189. doi: 10.1038/s41598-022-05290-z.	Journal Article
229	Osawa K, Kiniwa Y, Okuyama R	皮膚科	A Two-year-old Boy with a Depressed Area in the Groin: A Quiz	Acta Derm Venereol. 2022 Feb 8;102:adv00643. doi: 10.2340/actadv.v102.330.	Case Reports
230	Natsume T, Inaba Y, Osawa Y, et al.	小児科	High Incidence of Hippocampal Abnormalities in Pediatric Patients with Congenital Cytomegalovirus Infection	Neuropediatrics. 2022 Jan 28. doi: 10.1055/a-1754-1142. Online ahead of print.	Journal Article

231	Hayashi H, Shimizu A, Kubota K, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	Asymptomatic Venous Thromboembolism After Hepatobiliary-Pancreatic Surgery: Early Detection Using D-dimer and Soluble Fibrin Monomer Complex Levels	Ann Gastroenterol Surg. 2021 Aug 9;6(1):109-118. doi: 10.1002/ags3.12495. eCollection 2022 Jan.	Journal Article
232	Uehara M, Kuraishi S, Ikegami S, et al.	整形外科	Cervical myelopathy due to amyloid deposition with accompanying cardiac abnormalities	J Spinal Cord Med. 2022 Feb 2:1-5. doi: 10.1080/10790268.2022.2027322. Online ahead of print.	Journal Article
233	Yamada H, Fukushima T, Kobayashi T, et al.	血液・腫瘍内科学	Successful Response to Cyclophosphamide, Vincristine, and Dacarbazine Chemotherapy in a Patient with Metastatic Carotid Body Paraganglioma	Case Rep Oncol. 2021 Dec 27;14(3):1827-1833. doi: 10.1159/000520851. eCollection 2021 Sep-Dec.	Case Reports
234	Komatsu M, Yamamoto H, Ichiyama T, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー内科	Tolerability of nintedanib in the elderly with idiopathic pulmonary fibrosis: A single-center retrospective study	PLoS One. 2022 Feb 3;17(2):e0262795. doi: 10.1371/journal.pone.0262795. eCollection 2022.	Journal Article
235	Kamakura M, Uehara T, Iwaya M, et al.	消化器内科	LGR5 expression and clinicopathological features of the invasive front in the fat infiltration area of pancreatic cancer	Diagn Pathol. 2022 Feb 5;17(1):21. doi: 10.1186/s13000-022-01203-w.	Journal Article
236	Kakahara S, Yoshida N, Murata T	眼科	Laser Photocoagulation for Refractory Polypoidal Choroidal Vasculopathy	Ophthalmol Retina. 2022 Feb;6(2):108. doi: 10.1016/j.oret.2021.09.012.	Case Reports
237	Takeda T, Matsuoka S, Miura K, et al.	呼吸器外科	Prediction of Pulmonary Artery-Adherent Lymph Nodes for Minimally Invasive Lung Resection	Ann Thorac Surg. 2022 Feb 3:S0003-4975(22)00143-6. doi: 10.1016/j.athoracsur.2022.01.019. Online ahead of print.	Journal Article

238	Komatsu M, Yasuo M, Wada Y, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー内科	Obstructive Pneumonia Associated with Endobronchial Aspergilloma: Successful Treatment with Interventional Bronchoscopy and Antifungals	Intern Med. 2022 Feb 8. doi: 10.2169/internalmedicine.8202-21. Online ahead of print.	Journal Article
239	Yamamoto H, Komatsu M, Sonehara K, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー内科	Usual Interstitial Pneumonia Pattern Interstitial Lung Disease Developed in a Patient with IgG4-related Chronic Sclerosing Sialadenitis: A Case Report	Intern Med. 2022 Feb 8. doi: 10.2169/internalmedicine.8937-21. Online ahead of print.	Journal Article
240	Sonehara K, Tateishi K, Araki T, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー内科	Predictive Factors Correlated with the Development of Immune-Related Adverse Events in Patients with Non-Small Cell Lung Cancer Treated with Immune Checkpoint Inhibitors	Cancer Manag Res. 2022 Feb 2;14:427-435. doi: 10.2147/CMAR.S347852. eCollection 2022.	Journal Article
241	Uehara M, Ikegami S, Kuraishi S, et al.	整形外科	Comparison of fusion versus non-fusion surgery for retro-odontoid pseudotumor with atlanto-axial subluxation	N Am Spine Soc J. 2021 Apr 21;6:100064. doi: 10.1016/j.xnsj.2021.100064. eCollection 2021 Jun.	Journal Article
242	Sakai H, Kubota K, Yokoyama T, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	Colocutaneous fistula associated with Crohn's disease following Kugel patch repair for inguinal hernia: a case report	J Surg Case Rep. 2022 Feb 2;2022(2):rjac005. doi: 10.1093/jscr/rjac005. eCollection 2022 Feb.	Case Reports
243	Harada M, Nakajima T, Yamada Y, et al.	腎臓内科	Serum Sulfatide Levels as a Biomarker of Active Glomerular Lesion in Patients with Anti-Neutrophil Cytoplasmic Antibody-Associated Vasculitis: A Single Center Pilot Study	J Clin Med. 2022 Jan 30;11(3):762. doi: 10.3390/jcm11030762.	Journal Article

244	Okano T, Okada A, Shoda M, et al.	循環器内科	Gigantic Pacemaker Pocket Abscess Infected by Staphylococcus epidermidis	Intern Med. 2022;61(4):593-594. doi: 10.2169/internalmedicine.8035-21. Epub 2022 Feb 15.	Journal Article
245	Mimura T, Ikegami S, Kuraishi S, et al.	整形外科	How much residual deformity is acceptable according to SRS-22r and satisfaction scores after posterior spinal fusion for Lenke type 1 and 2 curves in adolescent idiopathic scoliosis?	J Neurosurg Spine. 2022 Feb 25;1-9. doi: 10.3171/2022.1.SPINE211251. Online ahead of print.	Journal Article
246	Oba H, Takahashi J, Shibata Y, et al.	整形外科	Frequency of Change in Assessment from Bony Union to Nonunion after Lumbar Interbody Fusion: A Multicenter Study	Spine Surg Relat Res. 2021 Jun 30;6(1):63-70. doi: 10.22603/ssrr.2020-0032. eCollection 2022.	Journal Article
247	Yamada A, Harada M, Nobuoka T, et al.	腎臓内科	Anti-Neutrophil Cytoplasmic Antibody-Associated Vasculitis Developing Pancreatic Lesion and Diabetes Mellitus: A Case Report and Review of the Literature	Tohoku J Exp Med. 2022 Feb;256(2):161-168. doi: 10.1620/tjem.256.161.	Case Reports
248	Koizumi T, Kobayashi T, Kanda S, et al.	血液・腫瘍内科学	Syndrome of Inappropriate Antidiuretic Hormone Secretion as the Initial Presentation in a Patient with Stage I Small-cell Lung Cancer	Intern Med. 2022;61(5):709-713. doi: 10.2169/internalmedicine.8223-21. Epub 2022 Mar 1.	Case Reports
249	Hoshiyama S, Maruyama Y, Iwaya M, et al.	小児科	Immunoglobulin G4-related orbital disease in an 8-year-old girl	Pediatr Int. 2022 Jan;64(1):e15014. doi: 10.1111/ped.15014.	Case Reports
250	Aomura D, Kurasawa Y, Harada M, et al.	腎臓内科	Brain MRI detection of early Wernicke's encephalopathy in a hemodialysis patient	Clin Case Rep. 2022 Mar 3;10(3):e05539. doi: 10.1002/ccr3.5539. eCollection 2022 Mar.	Journal Article

251	Ueki Y, Kuramitsu S, Saigusa T, et al.	循環器内科	Long-Term Outcomes in Elderly Patients After Deferral of Coronary Revascularization Guided by Fractional Flow Reserve	Circ J. 2022 Mar 12. doi: 10.1253/circj.CJ-21-1024. Online ahead of print.	Journal Article
252	Ogiwara T, Nitta J, Fujii Y, et al.	脳神経外科	A preliminary study of the diagnostic efficacy and safety of the novel boring biopsy for brain lesions	Sci Rep. 2022 Mar 14;12(1):4387. doi: 10.1038/s41598-022-08366-y.	Journal Article
253	Tanaka H, Seto T, Komatsu K, et al.	心臓血管外科	Left Coronary Cusp with Fenestration Adherent to the Aortic Wall	Int Heart J. 2022 Mar 30;63(2):404-407. doi: 10.1536/ihj.21-473. Epub 2022 Mar 15.	Case Reports
254	Kitagawa T, Ozaki N, Aoki Y	保健学科	Effect of physical therapy on the flexibility of the infrapatellar fat pad: A single-blind randomised controlled trial	PLoS One. 2022 Mar 17;17(3):e0265333. doi: 10.1371/journal.pone.0265333. eCollection 2022.	Journal Article
255	Yamaguchi K, Uehara M, Oba H, et al.	整形外科	Hemoptysis due to progressive scoliosis associated with congenital heart disease: a case report	BMC Musculoskelet Disord. 2022 Mar 18;23(1):263. doi: 10.1186/s12891-022-05225-9.	Case Reports
256	Hosoda K, Shimizu A, Kubota K, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	Gallbladder Burkitt's lymphoma mimicking gallbladder cancer: A case report	World J Gastroenterol. 2022 Feb 14;28(6):675-682. doi: 10.3748/wjg.v28.i6.675.	Case Reports
257	Amitani M, Oba T, Kiyosawa N, et al.	乳腺・内分泌外科	Skeletal muscle loss during neoadjuvant chemotherapy predicts poor prognosis in patients with breast cancer	BMC Cancer. 2022 Mar 26;22(1):327. doi: 10.1186/s12885-022-09443-1.	Journal Article
258	Takahashi Y, Ohashi N, Takasone K, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原病内科	CSF/plasma levels, transthyretin stabilisation and safety of multiple doses of tolcapone in subjects with hereditary ATTR amyloidosis	Amyloid. 2022 Mar 30:1-7. doi: 10.1080/13506129.2022.2056011. Online ahead of print.	Journal Article

259	Sakai Y, Yamamoto S, Karasawa T, et al.	リハビリテーション部	Effects of early rehabilitation in sepsis patients by a specialized physical therapist in an emergency center on the return to activities of daily living independence: A retrospective cohort study	PLoS One. 2022 Mar 31;17(3):e0266348. doi: 10.1371/journal.pone.0266348. eCollection 2022.	Journal Article
260	Miyagawa Y, Yamamoto Y, Kitazawa M, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	Association of Serum Creatinine Level with Prognosis of Laparotomy for Acute Mesenteric Ischemia after Cardiovascular Surgery	Surg Res Pract. 2022 Mar 28;2022:1737161. doi: 10.1155/2022/1737161. eCollection 2022.	Journal Article
261	Oba H, Oda I, Takahashi J, et al.	整形外科	Occipitoatlantal Anteroposterior Subluxation Associated with Condylar Hypoplasia and Congenital Atlantoaxial Fusion: Clinical Correspondence	Spine Surg Relat Res. 2021 Jun 30;6(2):185-188. doi: 10.22603/ssrr.2021-0052. eCollection 2022.	Journal Article
262	Nishio SY, Moteiki H, Miyagawa M, et al.	人工聴覚器学講座	Etiology of hearing loss affects auditory skill development and vocabulary development in pediatric cochlear implantation cases	Acta Otolaryngol. 2022 Mar-Apr;142(3-4):308-315. doi: 10.1080/00016489.2022.2065027. Epub 2022 Apr 28.	Journal Article
263	Horiuchi S, Kanaya K, Horiuchi T	脳神経外科	The Occurrence and Relationship of Postoperative Seizure and de novo Epilepsy after Craniotomy Surgery: A Retrospective Single-Center Cohort Study	Front Surg. 2022 Apr 19;9:881874. doi: 10.3389/fsurg.2022.881874. eCollection 2022.	Journal Article
264	Kitoh R, Nishio SY, Usami SI	耳鼻咽喉科頭頸部外科	Speech perception in noise in patients with idiopathic sudden hearing loss	Acta Otolaryngol. 2022 Mar-Apr;142(3-4):302-307. doi: 10.1080/00016489.2022.2059565. Epub 2022 Apr 24.	Journal Article

265	Suzuki Y, Kitaguchi Y, Ueno F, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー内科	Associations Between Morphological Phenotypes of COPD and Clinical Characteristics in Surgically Resected Patients with COPD and Concomitant Lung Cancer	Int J Chron Obstruct Pulmon Dis. 2022 Jun 21;17:1443-1452. doi: 10.2147/COPD.S366265. eCollection 2022.	Journal Article
266	Kodama K, Kothbauer KF, Deletis V	脳神経外科	Mapping and monitoring of brainstem surgery	Handb Clin Neurol. 2022;186:151-161. doi: 10.1016/B978-0-12-	Review
267	Mochizuki Y, Kodaira M, Kondo Y, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原病内科	Delayed Detection of Hydrocephalus following Mildly Traumatic Subarachnoid Hemorrhage in Corticobasal Degeneration: A Case Report	Case Rep Neurol. 2022 May 30;14(2):268-273. doi: 10.1159/000524794. eCollection 2022 May-Aug.	Case Reports
268	Wada Y, Goto N, Kitaguchi Y, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー内科	Referential equations for pulmonary diffusing capacity using GAMLSS models derived from Japanese individuals with near-normal lung function	PLoS One. 2022 Jul 21;17(7):e0271129. doi: 10.1371/journal.pone.0271129. eCollection 2022.	Journal Article

計268件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌
2 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上
3 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
4 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin press
5 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
～					

計 件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資
2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 ①「臨床研究に関する標準業務手順書」・・・「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて、国立大学法人信州大学医学部・附属病院における研究者が主導して行う人を対象とする生命科学・医学系研究の実施に必要な手続きと運営に関する手順を定めている。 ②「倫理審査申請の手順」・・・倫理審査申請から承認、研究の実施までの流れを定めている。 ③「他の研究機関からの審査依頼に関する標準業務手順書」・・・他の研究機関の長から人を対象とする生命科学・医学系研究の審議を依頼された場合の手順を定めている。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 国立大学法人信州大学臨床研究に係る利益相反マネジメント規程による	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年数回(適宜)

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年1回程度
・ 研修の主な内容 eAPRINのe-learning受講による教育研修	

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

後期研修 内科学 (1) (呼吸器・感染症内科) 大学院・専門医コース, 呼吸器専門医・感染症専門医コース, 脳神経内科専門医コース, リウマチ・膠原病内科専門医コース, 脳神経内科学大学院コース, リウマチ・膠原病内科学大学院コース, 大学院・研究コース, 臨床コース, 一般循環器内科コース, 循環器内科サブスペシャリティ取得コース, 大学院・研究コース, 一般精神医学コース, 大学院・研究コース, 精神科サブスペシャリティ取得コース, 一般皮膚科コース, 大学院・研究コース, 皮膚科サブスペシャリティ取得コース, 外科コース, 一般整形外科コース, 大学院・研究コース, 整形外科サブスペシャリティ取得コース, 脳神経外科専門医コース, 眼科専門医コース, 一般産婦人科医学コース, 研究コース, 産婦人科サブスペシャリティ取得コース, 麻酔科専門医コース その 1 (卒後臨床研修 2 年終了後、大学院・学位取得), 麻酔科専門医コース その 2 (卒後臨床研修 2 年終了後、大学院・関連病院間連携), 形成外科専門医コース, 一般救急・集中治療医コース, 大学院・研究コース, 特殊歯科・口腔外科アドバンストコース
専攻医研修 (基本領域) 内科専門研修プログラム、精神科専門研修プログラム、小児科専門研修プログラム、皮膚科専門研修プログラム、放射線科専門研修プログラム、外科専門研修プログラム、整形外科専門研修プログラム、脳神経外科専門研修プログラム、泌尿器科専門研修プログラム、眼科専門研修プログラム、耳鼻咽喉科専門研修プログラム、産婦人科専門研修プログラム、麻酔科専門研修プログラム、形成外科専門研修プログラム、救急科専門研修プログラム、リハビリテーション科専門研修プログラム、臨床検査専門研修プログラム、病理専門研修プログラム

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	152 人
-------------	-------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
花岡 正幸	呼吸器・感染症 ・アレルギー内科	診療科長	32 年	
梅村 武司	消化器内科	診療科長	27 年	
上條 祐司	腎臓内科	専門診療科長	27 年	
中澤 英之	血液内科	専門診療科長	20 年	
関島 良樹	脳神経内科	診療科長	30 年	
下島 恭弘	リウマチ・膠原 病内科	専門診療科長	22 年	
駒津 光久	糖尿病・内分泌 代謝内科	診療科長	35 年	
桑原 宏一郎	循環器内科	診療科長	30 年	
鷺塚 伸介	精神科	診療科長	27 年	
中沢 洋三	小児科	診療科長	25 年	

奥山 隆平	皮膚科	診療科長	32年
藤永 康成	放射線科	診療科長	28年
副島 雄二	消化器外科 移植外科 小児外科	診療科長	30年
瀬戸 達一郎	心臓血管外科	診療科長	26年
伊藤 研一	乳腺・内分泌外科	診療科長	33年
清水 公裕	呼吸器外科	診療科長	28年
高橋 淳	整形外科	診療科長	29年
堀内 哲吉	脳神経外科	診療科長	30年
栗田 浩	特殊歯科・口腔外科	診療科長	34年
石塚 修	泌尿器科	診療科長	37年
村田 敏規	眼科	診療科長	35年
工 穰	耳鼻いんこう科	診療科長	27年
塩沢 丹里	産科婦人科	診療科長	35年
川真田 樹人	麻酔科蘇生科	診療科長	35年
杠 俊介	形成外科	診療科長	32年
今村 浩	救急科	診療科長	34年
堀内 博志	リハビリテーション科	職付・特定雇用診療科長	29年
上原 剛	病理診断科	職付・診療教授	24年
川真田 樹人	臨床検査部	施設部長・事務取扱	35年

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

- 研修の主な内容 新人看護師、看護師ラダーに基づく研修
 - ・研修の期間・実施回数 4月～翌3月, 75回
 - ・研修の参加人数 1490名
- 放射線障害予防研修
 - ・内容 種類, 線量測定, 人体への影響, 職業被ばくの線量限度等の研修
 - ・研修回数 年1回実施 ・研修の参加人数 780人
- 医療放射線安全利用の研修
 - ・研修の主な内容 医療被ばくの基本, 放射線の正当化, 防護の最適化等の研修
 - ・研修の期間・実施回数 年1回実施 ・研修の参加人数 792人
- MRI安全講習
 - ・研修の主な内容 磁場と電波の影響, 吸着事故や火傷の防止, 造影剤の副作用等の研修
 - ・研修の期間・実施回数 年1回実施 ・研修の参加人数 350人

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

- ・研修の主な内容 ①看護職の管理者（師長）：マネジメント・コンパス
②看護職の管理者（副看護師長）：PDPを使った問題解決
③看護職の管理者（副看護師長）：マネジメントリフレクション
- ・研修の期間・実施回数 ①4月～12月 全3回
②5月～11月 全3回
③10, 11月 全2回
- ・研修の参加人数 ①延べ82名, ②延べ, 71名, ③延べ15名

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- ・研修の主な内容 新人看護師フィジカルアセスメント
- ・研修の期間・実施回数 8月 1回
- ・研修の参加人数 16名

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 川真田 樹人
管理担当者氏名	副病院長（事務担当） 三澤 剛， 総務課長 酒井 修， 経営管理課長 丸山 政紀， 経営推進課長 犬飼 一範， 医事課長 古澤 真紀， 医療支援課長 宮尾 勇人

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	規則第二十一条の第三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課	
		各科診療日誌	診療録管理室	
		処方せん		
		手術記録		
		看護記録		
		検査所見記録		
		エックス線写真		
		紹介状		
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十一条の第三第二項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
		高度の医療の提供の実績	医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	経営管理課	
		高度の医療の研修の実績	医学部	
		閲覧実績	総務課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	規則第一条の十一第一項に掲げる事項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理室	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理室	

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御室	電子化されている記録は感染制御室及び医事課医療安全係のシステム内で管理している。かつ紙媒体でも学内ルールにより5年間保存している。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御室	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御室	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御室	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	総務課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	経営管理課	
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	経営管理課		
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	経営管理課		

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全管理室
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療支援課
		医療安全管理部門の設置状況	医事課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	総務課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	総務課
		監査委員会の設置状況	医事課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理室
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医事課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	大学法人本部
		職員研修の実施状況	総務課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務課
		管理者が有する権限に関する状況	総務課
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 川真田 樹人
閲覧担当者氏名	副病院長(事務担当) 三澤 剛 総務課長 酒井 修 経営管理課長 丸山 政紀 経営推進課長 犬飼 一範 医事課長 古澤 真紀 医療支援課長 宮尾 勇人
閲覧の求めに応じる場所	総務課
閲覧の手続の概要 閲覧希望者より申請があった際には、総務課にて記録を閲覧させている。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有																										
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療安全管理に対する基本的な考え方 2. 医療安全管理のための組織に関する基本的事項 3. 医療安全管理のための職員に対する研修に関する基本的事項 4. 医療安全管理の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 5. 医療事故発生時の対応に関する基本方針 6. 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針（患者等に対する当該指針の閲覧に関する気泡方針を含む） 7. 患者からの相談への対応に関する基本方針 8. その他医療安全の推進のために必要な基本方針 																											
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況																											
<p>・ 設置の有無（有）</p> <p>・ 開催状況：年12回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>医療安全管理委員会の内規に基づき、本院で発生した医療事故の原因究明のための調査・分析。分析結果を活用した改善方策の立案・実施・周知おける事項の審議を行う。方策の実施状況についての調査、見直しとして、委員会構成員による関係部署の巡回等を行う。その他、重要な検討内容、患者への対応状況を含めて管理者への報告を行う。</p>																											
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年129回																										
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>部署医療安全管理者研修</td> <td style="text-align: right;">1回</td> </tr> <tr> <td>医療情報管理研修</td> <td style="text-align: right;">9回</td> </tr> <tr> <td>安全A「安全を向上するテクニック」</td> <td style="text-align: right;">22回</td> </tr> <tr> <td>安全B「近年のインシデント事例より」</td> <td style="text-align: right;">22回</td> </tr> <tr> <td>医療従事者向け一次救命処置事</td> <td style="text-align: right;">8回</td> </tr> <tr> <td>非医療従事者向け一次救命処置</td> <td style="text-align: right;">4回</td> </tr> <tr> <td>急変シミュレーション（部署での実施）</td> <td style="text-align: right;">10回</td> </tr> <tr> <td>医療安全推進週間記念講演会「医療現場のための問題解決技法について学ぶ」</td> <td style="text-align: right;">1回</td> </tr> <tr> <td>事例検討会（M&Mカンファレンス、RCAなど）</td> <td style="text-align: right;">16回</td> </tr> <tr> <td>セイフティプラス研修：eラーニング</td> <td style="text-align: right;">1回</td> </tr> <tr> <td>新採用者医療安全職員研修</td> <td style="text-align: right;">1回</td> </tr> <tr> <td>中途採用者医療安全職員研修</td> <td style="text-align: right;">23回</td> </tr> <tr> <td>超音波ガイド下中心静脈穿刺研修</td> <td style="text-align: right;">1回</td> </tr> </table>		部署医療安全管理者研修	1回	医療情報管理研修	9回	安全A「安全を向上するテクニック」	22回	安全B「近年のインシデント事例より」	22回	医療従事者向け一次救命処置事	8回	非医療従事者向け一次救命処置	4回	急変シミュレーション（部署での実施）	10回	医療安全推進週間記念講演会「医療現場のための問題解決技法について学ぶ」	1回	事例検討会（M&Mカンファレンス、RCAなど）	16回	セイフティプラス研修：eラーニング	1回	新採用者医療安全職員研修	1回	中途採用者医療安全職員研修	23回	超音波ガイド下中心静脈穿刺研修	1回
部署医療安全管理者研修	1回																										
医療情報管理研修	9回																										
安全A「安全を向上するテクニック」	22回																										
安全B「近年のインシデント事例より」	22回																										
医療従事者向け一次救命処置事	8回																										
非医療従事者向け一次救命処置	4回																										
急変シミュレーション（部署での実施）	10回																										
医療安全推進週間記念講演会「医療現場のための問題解決技法について学ぶ」	1回																										
事例検討会（M&Mカンファレンス、RCAなど）	16回																										
セイフティプラス研修：eラーニング	1回																										
新採用者医療安全職員研修	1回																										
中途採用者医療安全職員研修	23回																										
超音波ガイド下中心静脈穿刺研修	1回																										
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況																											

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備（有）
規程の名称「医療安全管理マニュアル」
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

インシデントの発見者または当事者が入力した業務端末内のインシデント報告システムにより、医療安全管理室でインシデントの発生を把握する。部署医療安全管理者にも報告内容が自動的にメールにて通知される。

影響レベル3b以上の事例については医療安全管理者のPHSあるいは公用携帯電話に直接連絡が入る。また、発見通知入力により医療安全管理室会議構成員に自動的にメールが送信される。インシデントレポート提出と報告については、1日1回まとめて医療安全管理室から医療安全管理室会議構成員にメール配信を行い、全員が確認している。

毎週木曜日に医療安全管理室ミーティングを開催し、全週1週間分のインシデントレポート内容について検討している。

事例の問題分析については、各部署で事例ごとに再発防止策を検討する。複数の職種や部署が関与する事例、繰り返し発生する事例については、医療安全管理室の指導の下、各部署とともに事例分析を行う。

事例の改善策については、医療安全管理室ミーティングで毎週1回検討を行って、また、医薬品安全管理室及び医療安全管理室の連絡会議を月に1回開催している。前述の会議、その他の会議により、各部署及び医療安全管理室などで立案し、医療安全管理委員会で審議し改善策を決定している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： ● 医療関連感染対策に関する基本的な考え方 ● 感染対策委員会の設置 ● 医療関連感染対策に関する職員研修 ● 医療関連感染発生時の対応 ● 医療関連感染対策ガイドライン ● 患者等に対する当該指針の閲覧及び情報提供と説明に関する基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： ● 抗菌薬使用動向報告 ● JANIS検査部門還元情報報告/感染症レポート ● 医療関連感染に関する啓発及び職員研修の企画、実施 ● 医療関連感染ガイドライン等の改訂についての審議（感染症診察室使用基準） ● アウトブレイク事象についての対応、報告、職員への周知（CPE：歯科、救急センター） ● 職業感染対策（血液・体液曝露、結核接触者健診、ワクチン接種プログラム 等）についての実施及び報告 ● 医療関連感染サーベイランス（デバイス関連、耐性菌、プロセス 等）についての実施及び報告 ● 院内ラウンドの実施及び報告、改善活動報告、コンサルテーション対応 ● 感染防止対策地域連携加算に基づく相互チェックの実施及び報告 ● 新型コロナウイルス感染症の対応 ● その他感染管理に関する事項の検討、審議、決定（耐性菌検出のための糞便対象方法の変更） 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 19回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）： ● 医療関連感染対策に関するオリエンテーション：新規採用者、中途採用者、復帰者 ● 変異株を意識した新型コロナウイルス感染症対策：全職員、委託業者 ● そういえば薬剤耐性菌ってどうなってんの？：全職員、委託業者 ● 新型コロナワクチンについて：全職員 ● 冬の感染対策：全職員、委託業者 ● おさえておきたい経口抗菌薬の基本：全職員、委託業者 ● 研修医クルーズ：研修医 ● 看護部リンクナース研修コース（3回/年）：看護師 ● DVD研修：上記研修の未受講者（年2回参加に満たない職員） 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 （有） ・ その他の改善のための方策の主な内容： ● アウトブレイク対応（部署への介入） ● 病棟改修工事に関する感染対策の助言・提言 ● 新型コロナウイルス感染症対策本部の活動（ルールや対策等の発信、クラスター対応） 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 1) 麻薬・向精神薬・覚醒剤原料の管理・取扱いについて（WEB研修） 2021/11/1～2021/11/30, 289名 2) 医薬品安全使用のための講習会「医薬品を安全に使用するために～事例から再発防止につなげよう～」(WEB研修) 2022/1/14 ～2022/2/28, 161名 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (有) ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1) 医薬品の採用・購入：薬事委員会の開催に基づく医薬品の採用 2) 医薬品管理：手順に基づいた医薬品の購入および適正管理の実施、各部署での医薬品管理等 3) 患者に対する医薬品使用：調剤、交付、過誤防止 4) 薬剤管理指導・病棟薬剤業務の実施：適切な薬剤管理指導業務および病棟薬剤業務の実施、持参薬確認等 5) 医薬品情報の収集・提供等：医薬品情報の収集、解析、評価、 医薬品情報管理室と病棟薬剤師との連携、医薬品情報管理室と医療安全管理室との連携 6) 院内製剤 7) 保険薬局との連携：疑義照会への対応等 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有) ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： 2021年度、未承認等医薬品の使用事例はなかった。 ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1) 医薬品安全管理に係る内容の見直し、および医薬品安全管理のための業務手順書の改訂と院内への周知徹底 2) 医薬品の安全管理に係る研修内容の検討と実施 3) 医薬品の安全使用のための情報提供方法の工夫 メールによる全職員への配信、電子カルテ初期画面への掲示、院内向け薬剤部ホームページへの掲示、各診療科・病棟への書面等により通知している。添付文書内容は、添付文書データベースを月に1回更新し、最新の情報を診療端末にて閲覧可能としている。「医薬品医療機器等安全性情報」については、簡易版を作成し、医療安全管理室ニュースと合わせて配布及び回覧をしている。また、部署医療安全管理者会議にて冊子を案内・配布している。 4) 医薬品情報室担当者と医療安全管理室担当者による、定期的（月1回）な連絡会議開催 院内で発生した医薬品に係るインシデントや、院内外より入手した医薬品の安全性情報・適正使用情報について情報交換をし、院内での対応策等について協議し適切な措置を講じている。 5) 院内での医薬品副作用報告体制の整備 電子カルテシステムからの副作用報告を可能とし、周知および薬事委員会、医療安全管理委員会で報告を行っている。 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年31回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 新規機器の導入時の研修 特定機能病院に係る医療機器（人工呼吸器、人工心肺及び補助装置、血液浄化装置、除細動器、閉鎖式保育器、放射線治療装置、CTエックス線装置、MRI装置）の研修 AED等、シリンジポンプ等必要な機器の研修 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る計画の策定 （有） ・ 機器ごとの保守点検の主な内容： 年1回を基本とした定期点検 消耗品・定期部品交換、動作確認、漏電チェック等 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 （有） ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）： ・ その他の改善のための方策の主な内容： Webサイトへの掲載 部署リスクマネージャー会議での連絡 研修会でのアンケート結果による研修内容の見直し 納入業者へ納入医療機器の情報提供の依頼 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有
<ul style="list-style-type: none"> ・ 責任者の資格（医師） ・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 医療安全管理責任者は副病院長（危機管理担当）が担っており、同時に医療安全管理部門の責任者及び医療安全管理委員長となり、医療の安全に関することを統括管理している。また、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者は、医療安全管理委員会の構成員となり医療安全に関する報告を行っている。 	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（3名）
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 月1回の医薬品情報管理室（医薬品情報管理室主任、病棟主任、医薬品安全管理者）と医療安全管理室による連絡会議では、院内で発生した医薬品に係るインシデントや、院内外より入手した医薬品の安全性情報・適正使用情報について情報交換をし、院内での対応策について協議し、適切な措置を講じている。検討した内容は、医療安全管理委員会で審議したのち、部署医療安全管理者会議で報告、周知している。 2) 薬事委員会、および医療安全委員会において、副作用症例報告、医薬品医療機器等安全性情報の周知を行っている。 3) 特に重要な事項については、「医薬品の安全使用のための研修会」において、理解度確認テスト（解説付き）を行うことにより、受講者の理解を深めるようにしている。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 1) 審査済みの未承認薬等使用時は、処方・注射オーダーリングからの入力とし、患者限定・医薬品採用願書または薬剤保管依頼書、倫理委員会審査結果通知書を医薬品情報管理室に提出する。処方監査時に使用状況の把握を行う。また、医療安全管理室の専従薬剤師が、患者の使用状況について定期的に確認している。 2) 登録状況、使用状況については、薬剤部主任会議（月1回開催）で報告を受けており、医薬品安全管理責任者に確実に伝達される。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 担当者の指名の有無（有） ・ 担当者の所属・職種： （所属：薬剤部医薬品情報管理室，職種 薬剤主任） 	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無（有） ・ 説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：診療録管理委員会での遵守状況の確認、指導及び医療安全管理委員会との情報共有 	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有
<ul style="list-style-type: none"> ・ 診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 主に手術記録，退院時要約，インフォームド・コンセントに関する記録，カウンターサイン実施状況等を日常的に確認し，記載に不備が認められた場合に担当医へ指導を実施。記載が不十分な事例については，診療録管理委員会を通じて，各部署に周知を依頼 ・ 新入職員入職時のオリエンテーションにおいて，診療録と診療報酬の関係に関する講義を担当 ・ 卒後臨床研修医入職時のオリエンテーションにおいて，退院時要約の作成に関する講義を担当 ・ 多職種による診療記録および退院時要約の質的監査を，それぞれ年2回実施。監査結果を診療録管理委員会へ報告するとともに主治医へのフィードバックを実施 	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員：専従（5）名、専任（0）名、兼任（8）名 うち医師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（6）名 うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（0）名 うち看護師：専従（2）名、専任（0）名、兼任（1）名 （注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ インシデントレポート及び関係者からの事実確認に基づく医療事故等の判定 ・ 医療事故発生時における記録等の確認及び指導並びに患者家族への対応状況の確認及び指導 ・ 医療安全相談室からの医療事故の相談内容に関する事項 ・ 医療の安全管理を推進するための啓発活動に関すること ・ 医療安全管理委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び改善策の提案に関すること ・ 肺血栓塞栓症予防策の実施状況及び全死亡例のモニタリングに関すること ・ インフォームド・コンセントの適切な実施に関すること ・ その他医療の安全管理に係る連絡調整及び医療安全対策の推進に関すること <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。</p> <p>※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。</p>	
⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（55件）、及び許可件数（54件） ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有） ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有） ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 高難度新規医療技術を用いた医療の提供に関する審査申請があった場合は、担当部門においてその提供の適否を審査する。当該医療技術実施後は、実施状況を確認する。 ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有） ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有） 	
⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（3件）、及び許可件数（3件） ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有） ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有） ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 未承認新規医薬品等を用いた医療の提供に関する審査申請があった場合は、担当部門においてその提供の適否を審査する。当該医薬品使用時は、薬剤部内で情報共有し、担当薬剤師は副作用の発 	

現等をモニターする。使用後は、使用状況を確認する。

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有）
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 272 件
- ・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 100 件
- ・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
 - ・ 医療安全管理部門に報告された事象の確認
 - ・ 適切に報告されているかの確認及び報告が不十分な場合の指導

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・ 他の特定機能病院等への立入り（有（病院名：和歌山県立医科大学附属病院））
- ・ 他の特定機能病院等からの立入り受入れ（有（病院名：東北大学病院））
- ・ 技術的助言の実施状況
和歌山県立医科大学附属病院に対して、2022年10月28日（金）に実施予定。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・ 体制の確保状況
窓口「医療安全相談室」を設置し、医療安全相談室（個室）で相談。対応者は客観的・中立的な立場を遵守し、相談後の対応は患者等の意向を尊重しながら対応を行っている。対面の他、電話相談・投書箱でも対応を行っている。

⑫ 職員研修の実施状況

- ・ 研修の実施状況
監査委員会からの意見の表明に関する事項については、研修該当事項がない為、実施なし。
医療法施行規則改正に係る事項については、医療安全管理室主催の研修として実施。

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

- ・ 研修の実施状況
院内での研修実施予定は無し。
川真田樹人（病院長）は、2021年度特定機能病院管理者研修（2回目以降の受講となる方対象）を2022年1月25日に受講済である。
塩沢丹里（医療安全管理責任者）は、2021年度特定機能病院管理者養成研修（2回目以降の受講となる方対象）を2021年12月8日に受講済である。
今村浩（医療機器安全管理責任者）は、2021年度特定機能病院管理者養成研修（2回目以降の受講となる方対象）を2022年1月19日に受講済である。
土屋広行（医薬品安全管理責任者）は、2021年度特定機能病院管理者研修（初回の受講となる方対象）を2021年11月10日に受講済である。

（注）前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・ 第三者による評価の受審状況

令和元年6月12日～14日、公益財団法人日本医療機能評価機構 病院機能評価 一般病院3
<3rdG:Ver.2.0> 受審。

・ 評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況
改善のために講ずべき措置はなかった。

・ 評価を踏まえ講じた措置
改善のために講ずべき措置はなかった。

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 <p>人格が高潔で、学識に優れ、かつ、本院における医療の質と安全性を確保し、高度医療の提供及び教育研究活動を適切かつ効果的に運営することができる能力を有する者で、以下の要件を満たす者。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 医師免許を有している者 (2) 医療安全確保のために必要な資質・能力を有している者 (3) 病院の管理運営に必要な資質・能力を有している者 (4) 教育・研究・診療に必要な資質・能力を有している者 <ul style="list-style-type: none"> ・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ 有 ） ・ 公表の方法 本学公式サイトに掲載

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	無			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ 有・無 ） ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ 有・無 ） ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ 有・無 ） ・ 公表の方法 				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
				有・無
				有・無
				有・無
				有・無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無		有	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 合議体の主要な審議内容 信州大学医学部附属病院の運営に関する重要事項を審議する。 ・ 審議の概要の従業者への周知状況 各診療科長宛に紙媒体にて通知するとともに、電子掲示板にて周知している。 ・ 合議体に係る内部規程の公表の有無（有） ・ 公表の方法 WEBによる公表 ・ 外部有識者からの意見聴取の有無（無） 			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
川真田 樹人	○	医師	病院長
花岡 正幸		医師	副病院長（経営、広報、地域医療担当）
塩沢 丹里		医師	副病院長（危機管理担当）
栗田 浩		医師	副病院長（施設担当）
関島 良樹		医師	副病院長（管理・運営担当）
伊藤 寿満子		看護師	副病院長（看護部長）
三澤 剛		事務職員	副病院長（事務担当）
桑原 宏一郎		医師	
梅村 武司		医師	
中澤 英之		医師	
上條 祐司		医師	
下島 恭弘		医師	
駒津 光久		医師	

鷲塚 伸介		医師	病院長補佐（倫理担当）
中沢 洋三		医師	病院長補佐（国際化担当）
奥山 隆平		医師	病院長補佐（教育・研究担当）
藤永 康成		医師	病院長補佐（設備担当）
副島 雄二		医師	病院長補佐（診療担当）
瀬戸達一郎		医師	
清水 公裕		医師	
伊藤 研一		医師	
高橋 淳		医師	
堀内 哲吉		医師	
石塚 修		医師	病院長補佐（評価担当）
村田 敏規		医師	
工 穰		医師	
杠 俊介		医師	
今村 浩		医師	病院長補佐（災害対策担当）
関口 健二		医師	
堀内 博志		医師	
上原 剛		医師	
牛木 淳人		医師	
古庄 知己		医師	
本田 秀夫		医師	
大野 康成		医師	
小泉 知展		医師	
内藤 隆文		医師	
増田 雄一		医師	

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有）
 - ・ 公表の方法
WEBによる公表
- ・ 規程の主な内容
 - ・ 病院長は、病院の管理運営に関する業務を統括する。
 - ・ 副病院長は4人以内とし、そのうち1人は看護部長をもって充て、1人は事務部担当とし、それ以外の副病院長は、病院長が指名する。
 - ・ 病院長補佐は3人以内とし、信州大学医学部附属病院規程の第16条に規定する病院診療科長会の構成員のうちから、病院長が指名する。
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
 - ・ 副病院長は、病院長の業務を補佐するとともに、病院長に事故があるときは、病院長があらかじめ指名した副病院長が、その職務を代行する。
 - ・ 病院長補佐は、病院長の求めに応じ、病院の管理運営に関する専門的事項について企画立案するとともに、当面する諸課題その他病院長が必要と認める事項について助言等を行う。
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
 - ・ 川真田樹人（病院長）は、2021年度特定機能病院管理者研修（2回目以降の受講となる方対象）を2022年1月25日に受講済である。
 - ・ 塩沢丹里（医療安全管理責任者）は、2021年度特定機能病院管理者養成研修（2回目以降の受講となる方対象）を2021年12月8日に受講済である。
 - ・ 今村浩（医療機器安全管理責任者）は、2021年度特定機能病院管理者養成研修（2回目以降の受講となる方対象）を2022年1月19日に受講済である。
 - ・ 土屋広行（医薬品安全管理責任者）は、2021年度特定機能病院管理者研修（初回の受講となる方対象）を2021年11月10日に受講済である。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	有
<p>・ 監査委員会の開催状況：年2回（R4.1.19（水）、R4.2.21（月））</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(1) 医学部附属病院における医療安全管理責任者、医療安全管理室、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者等の業務の状況について、病院長等から報告を求め、又は必要に応じて資料の提出、関係者の委員会への出席等を求め確認を行うこと。</p> <p>(2) 必要に応じ、学長又は病院長に対し、医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を表明すること。</p> <p>(3) 第1号及び第2号に掲げる業務について、その結果をホームページで公表すること。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（有）</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無（有）</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無（有）</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（無）</p> <p>・ 公表の方法：</p> <p>信州大学医学部附属病院のウェブページ上で公開している。</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
田内 克典	社会医療法人 財団慈泉会相 澤病院 病院長	○	医療に係る安全 管理に関する 識見を有する者	無	1
高木 洋行	松本市立病院 名誉院長		医療に係る安全 管理に関する 識見を有する者	無	1
宗村 和広	信州大学経法 学部 教授		法律に関する 識見を有する者	無	1
土屋 恭子			医療を受ける者	無	2

（注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・体制の整備状況及び活動内容
内部監査室において、当該年度の病院を含む各組織の業務に関し、監事による監査と連携し、監査を実施している。

- ・ 専門部署の設置の有無（ 有 ）
- ・ 内部規程の整備の有無（ 有 ）
- ・ 内部規程の公表の有無（ 有 ）

- ・ 公表の方法
WEBによる公表

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 <p>国立大学法人信州大学病院業務監督委員会を設置し、次に掲げる事項について、点検・監督を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 経営状況に関すること。 (2) 予算及び決算に関すること。 (3) 中期目標・中期計画に関すること。 (4) 人事計画に関すること。 (5) 学長が必要と認めた事項に関すること。 (6) その他病院の管理運営に関する重要事項に関すること。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 会議体の実施状況（年 6 回） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（有）（年 6 回） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（有） ・ 公表の方法 WEBによる公表 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：国立大学法人信州大学病院業務監督委員会			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
永松 裕希	理事（総括担当（プロボスト））	○	無
藤澤 晃	理事（財務、環境施設担当）		無
清澤 研道	相澤病院		無
西垣 明子	長野県健康福祉部		無
井上 憲昭	JA 長野厚生連 富士見高原医療福祉センター		無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（有）・ 通報件数（年0件）・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（有）・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（有）・ 周知の方法：医療安全管理マニュアル，病院オールメール（年2回），業務端末に掲載

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	④・無
<p>・ 情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>病院ホームページ、病院概要冊子 (年 1 回発行) および病院広報誌 (年 4 回程度発行) 等により、病院の基本理念をはじめ診療科・診療部門等の取り組み等について、患者や他の医療機関等へ広く情報発信を行っている。</p> <p>また、2021年 5 月には書籍「よりよい医療を届けたいー信大病院の最新治療」を発行した。</p>	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	④・無
<p>・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>複数の診療科が連携し医療を提供するてんかん外来、周産期のこころの外来、頭痛外来、YS外来等の専門外来を開設している。</p>	